

都市計画マスタープランにかかる 市民アンケート調査結果

2019年12月

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	アンケート集計結果	2
2-1	個人属性	2
2-2	知立市全体について	10
2-3	知立駅周辺について	24
2-4	お住まいの地区について	35

1. アンケート調査の概要

1-1 目的

「知立市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、市民の考えるまちづくりについて把握することを目的としました。

1-2 調査対象

市民 2,000 人（無作為抽出）

1-3 調査方法

郵送配布、郵送回収

1-4 調査期間

平成 30 年 8 月～9 月

1-5 配布数・回収数

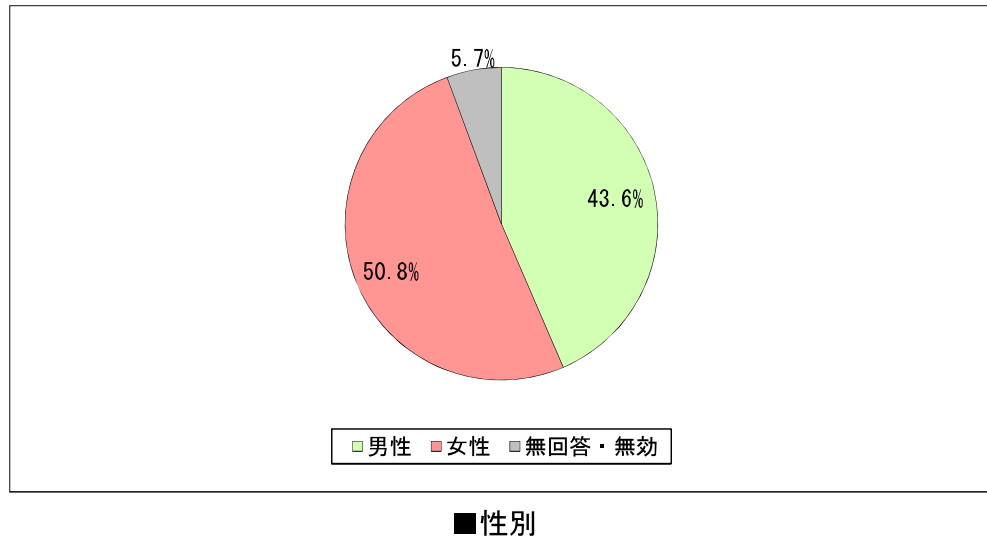
配布数	回収数	回収率
2,000	900	45.0%

2. アンケート集計結果

2-1 個人属性

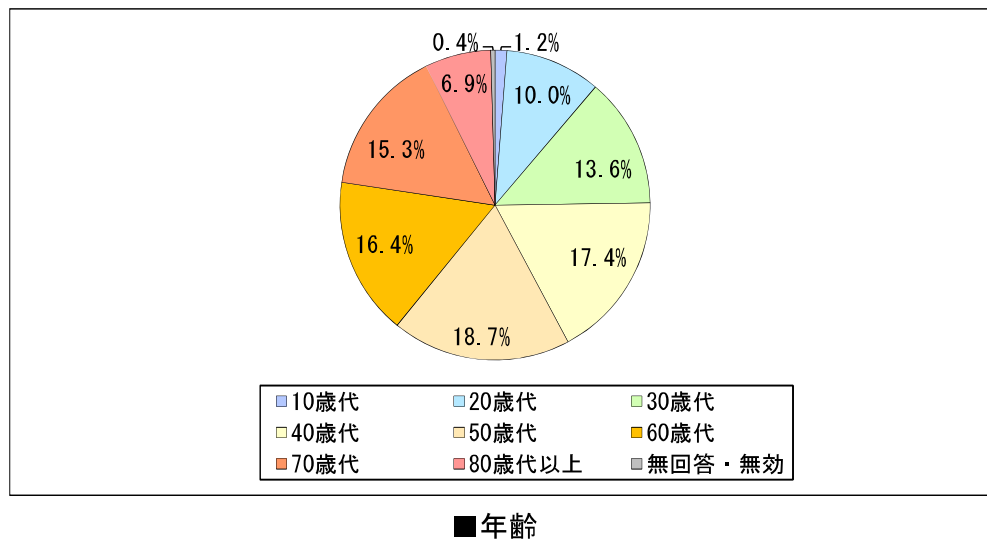
(1) 性別

男性が 43.6%、女性が 50.8%です。



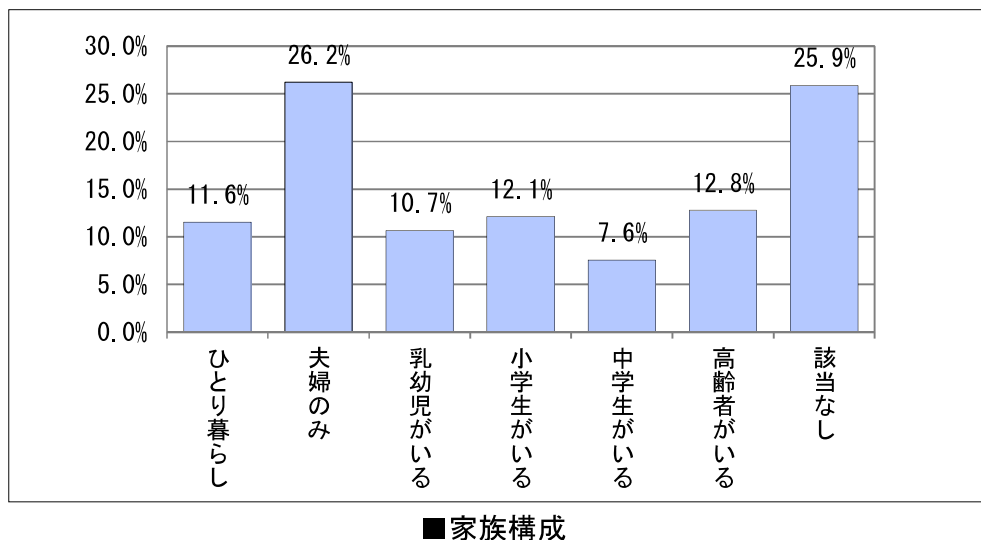
(2) 年齢

50 歳代が 18.7%で最も高く、次いで 40 歳代が 17.4%、60 歳代が 16.4%となっています。



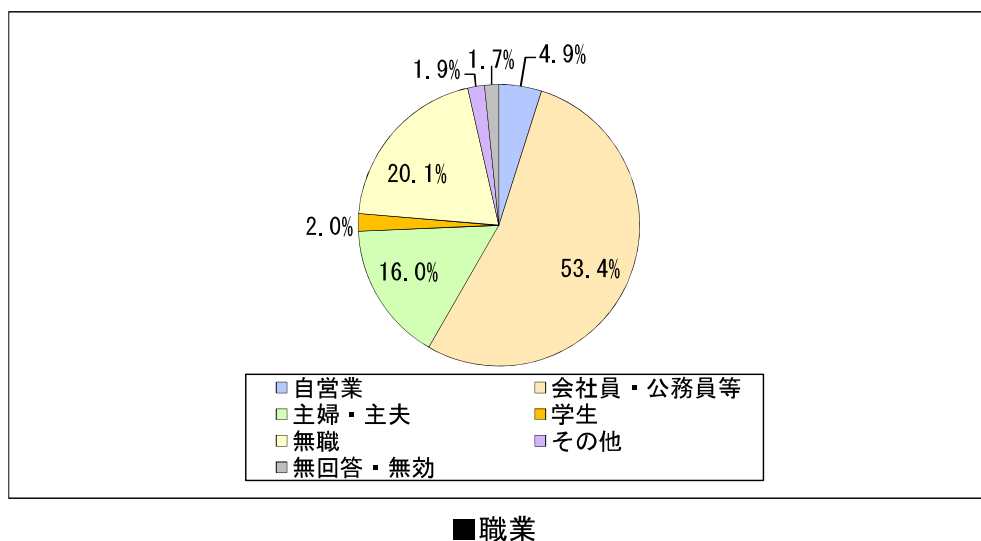
(3) 家族構成

「夫婦のみ」が 26.2%で最も高く、次いで「該当なし」が 25.9%、「高齢者がいる」が 12.8%となっています。



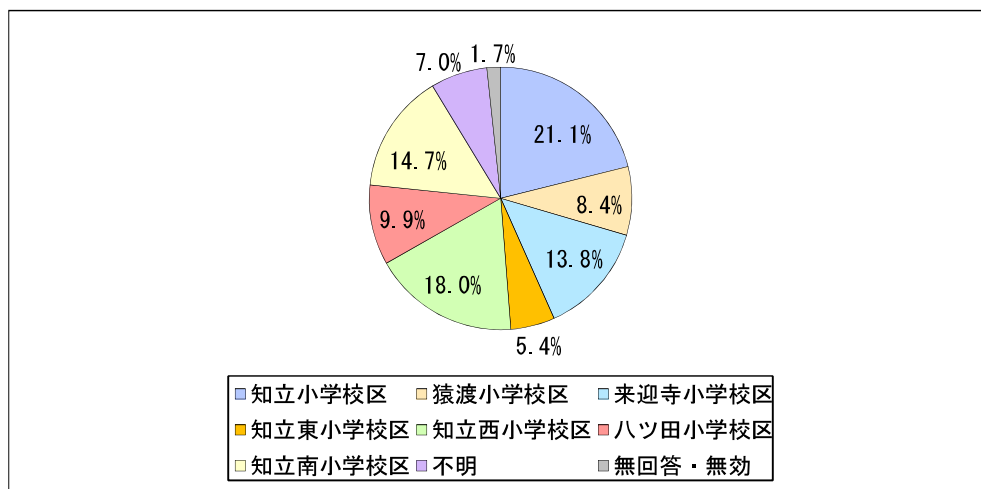
(4) 主な職業

「会社員・公務員等」が 53.4%で最も高く、次いで「無職」が 20.1%、「主婦・主夫」が 16.0%となっています。



(5) 住んでいる「小学校区」

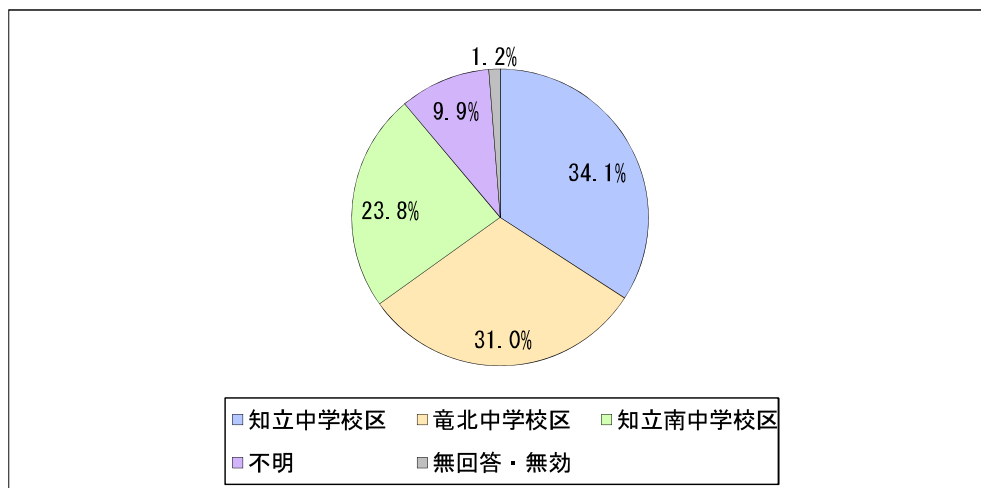
「知立小学校区」が21.1%で最も高く、次いで「知立西小学校区」が18.0%、「知立南小学校区」が14.7%となっています。



■ 小学校区

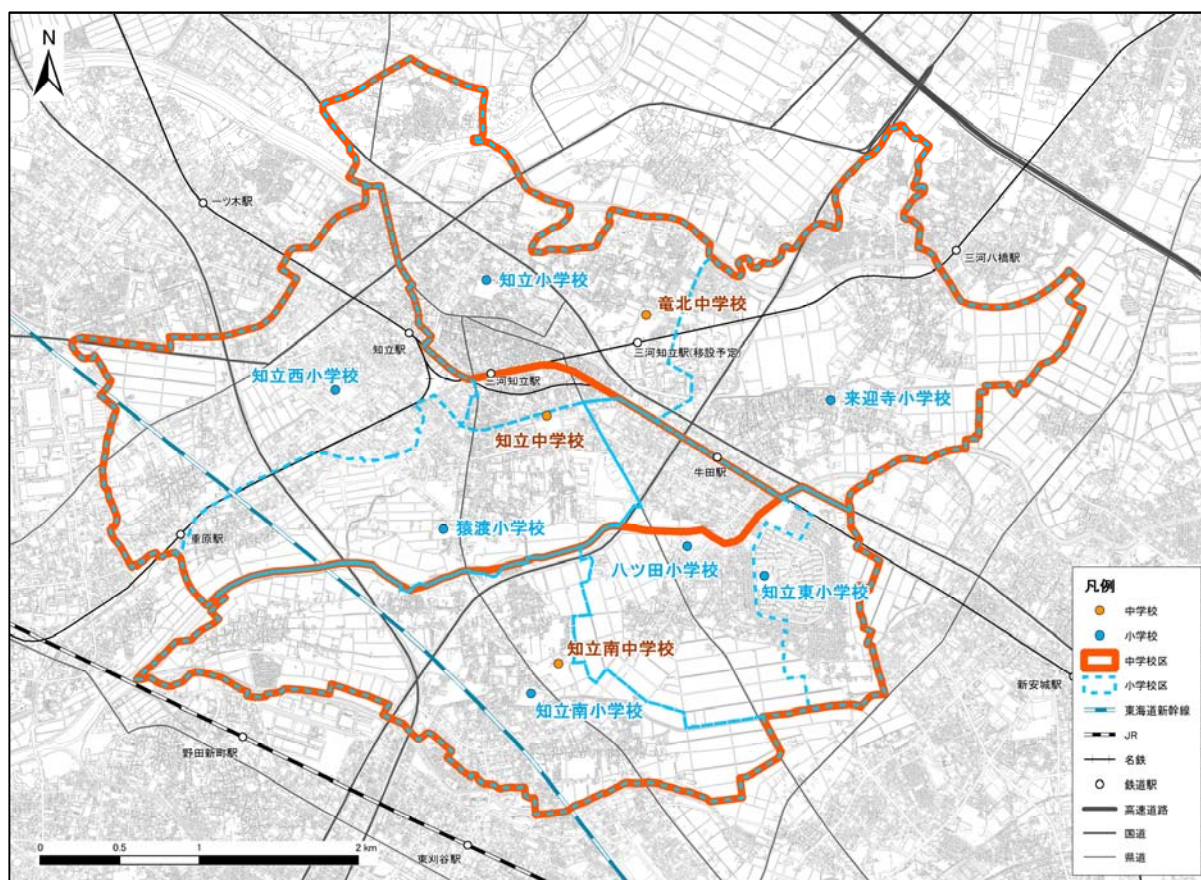
(6) 住んでいる「中学校区」

「知立中学校区」が34.1%で最も高く、次いで「竜北中学校区」が31.0%、「知立南中学校区」が23.8%となっています。



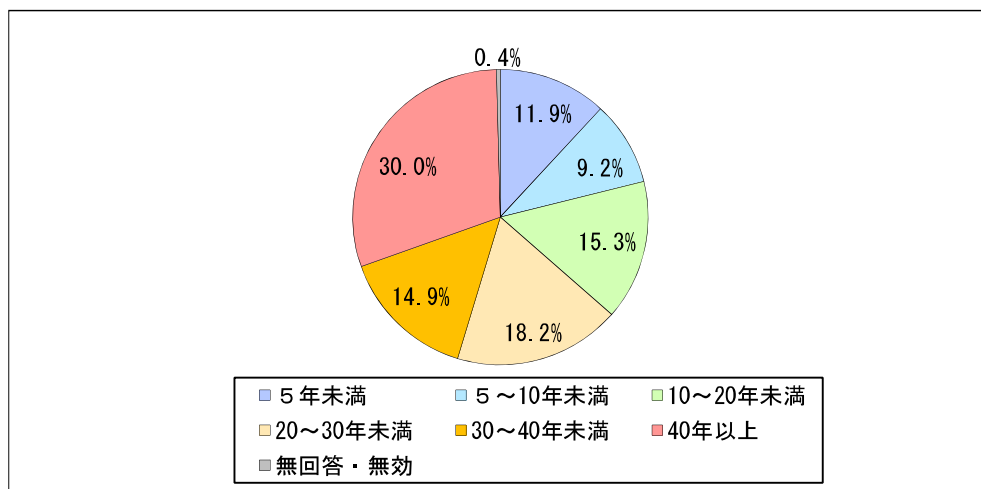
■ 中学校区

参考：小学校区と中学校区



(7) 知立市での「居住年数」

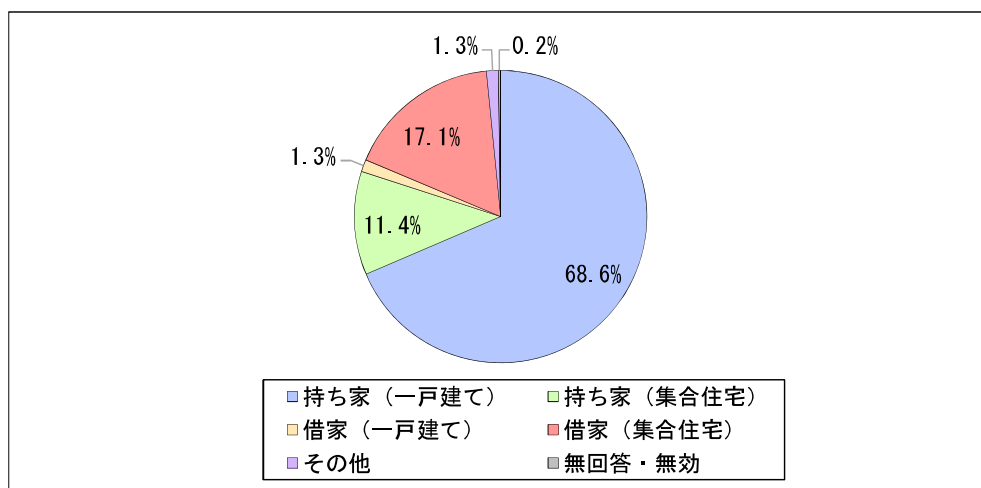
「40 年以上」が 30.0%で最も高く、次いで「20～30 年未満」が 18.2%、「10～20 年未満」が 15.3%となっています。



■ 居住年数

(8) 住んでいる「住宅の種類」

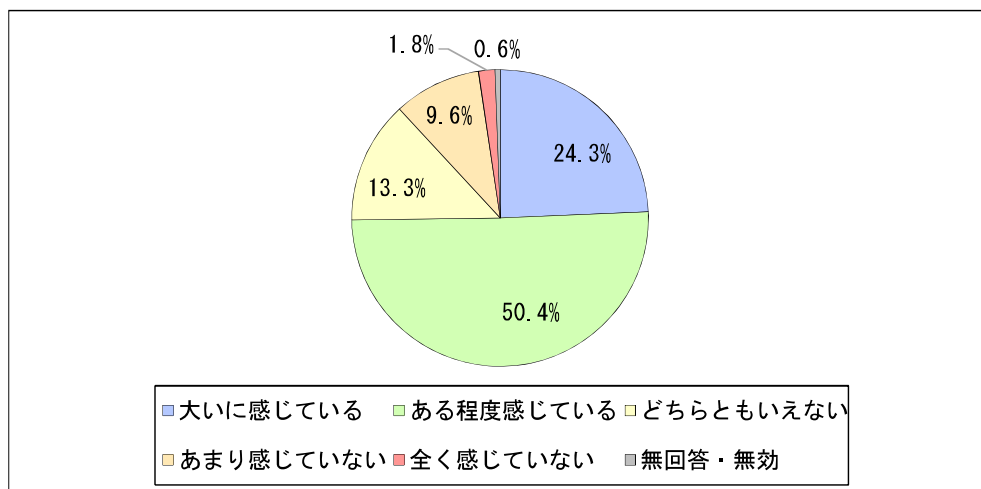
「持ち家（一戸建て）」が 68.6%で最も高く、次いで「借家（集合住宅）」が 17.1%、「持ち家（集合住宅）」が 11.4%となっています。



■ 住宅の種類

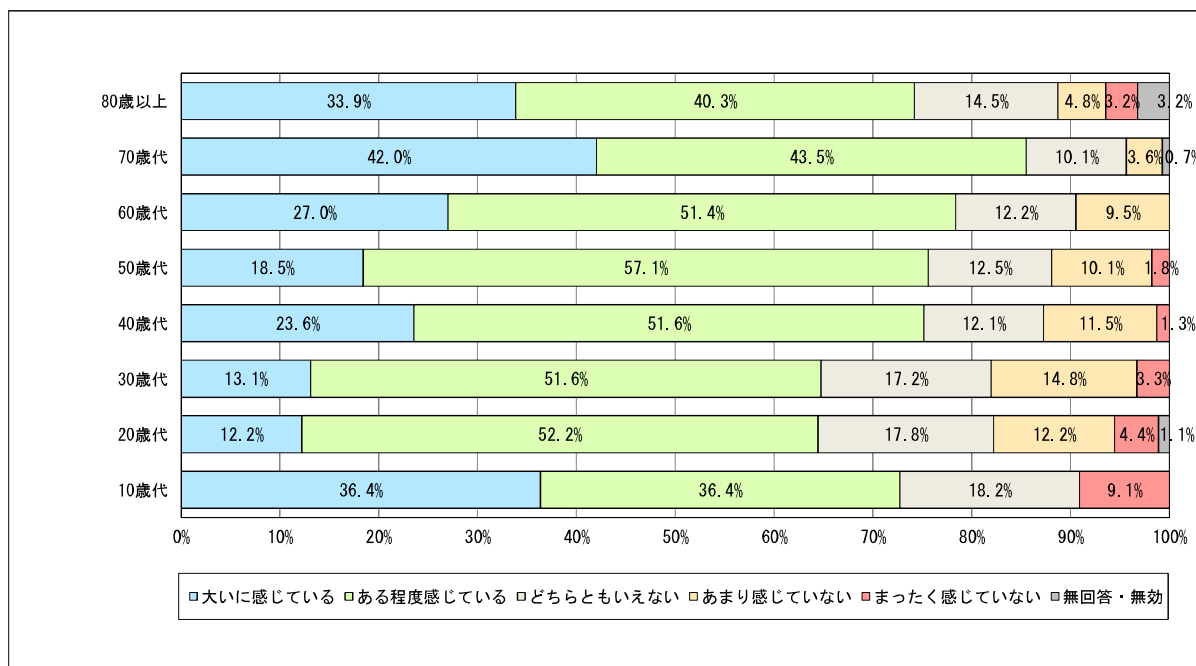
(9) 知立市への愛着を感じているか

「ある程度感じている」が50.4%で最も高く、次いで「大いに感じている」が24.3%、「どちらともいえない」が13.3%となっています。



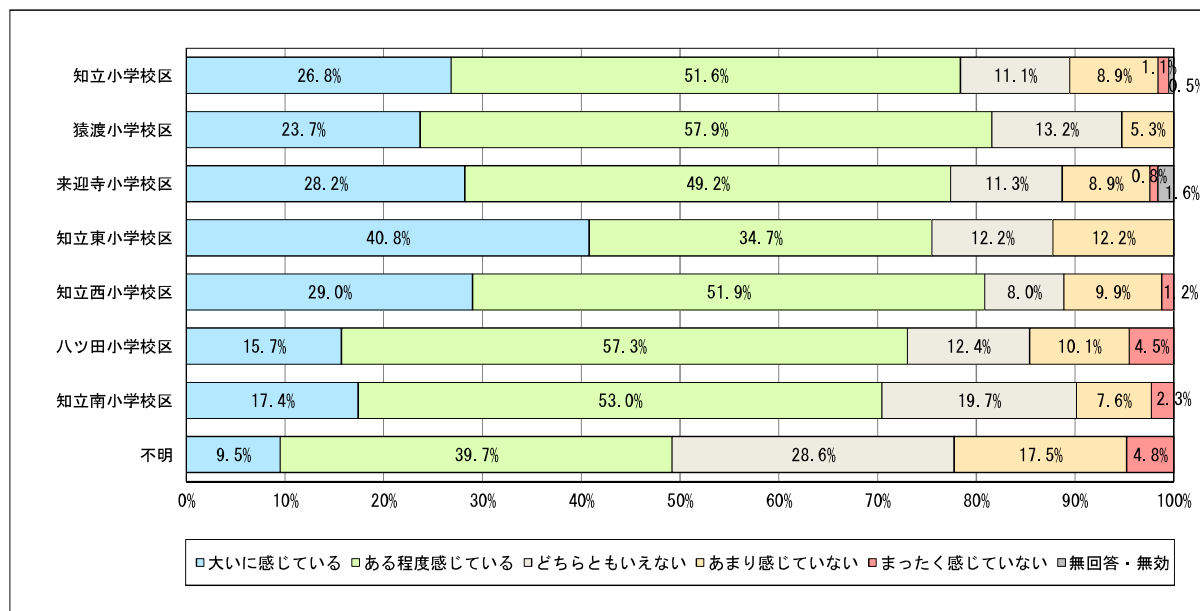
■知立市への愛着（全体）

年齢別にみると、10歳代では「大いに感じている」と「ある程度感じている」が30%以上で最も高く、20歳代から80歳以上では「ある程度感じている」が40%～60%で最も高くなっています。また、20歳代から70歳代にかけて年齢があがるにつれて、愛着を感じる人の割合が高くなっています。



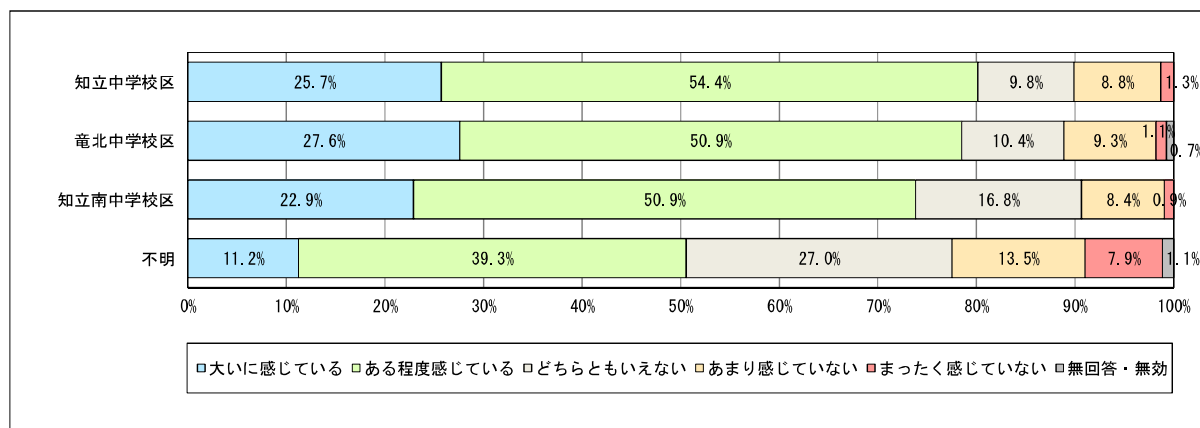
■知立市への愛着（年齢別）

小学校区別にみると、知立東小学校区では「大いに感じている」が約 40%と最も高く、「大いに感じている」と「ある程度感じている」を足すと、いずれの小学校区でも 70%～80%となっています。



■ 知立市への愛着（小学校区別）

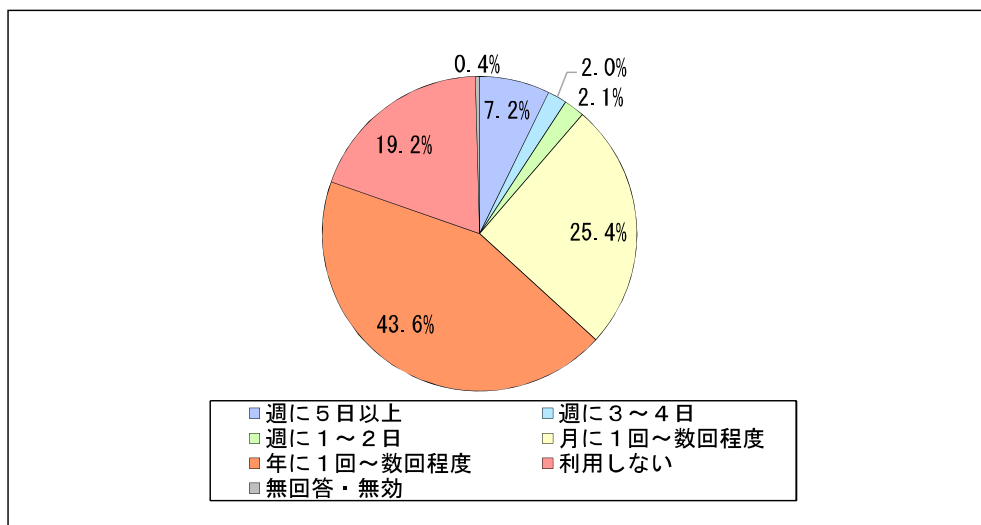
中学校区別にみると、すべての中学校区で「ある程度感じている」が約 50%と最も高くなっています。



■ 知立市への愛着（中学校区別）

(10) 知立駅から電車を利用する頻度

「年に1回～数回程度」が43.6%で最も高く、次いで「月に1回～数回程度」が25.4%、「利用しない」が19.2%となっています。



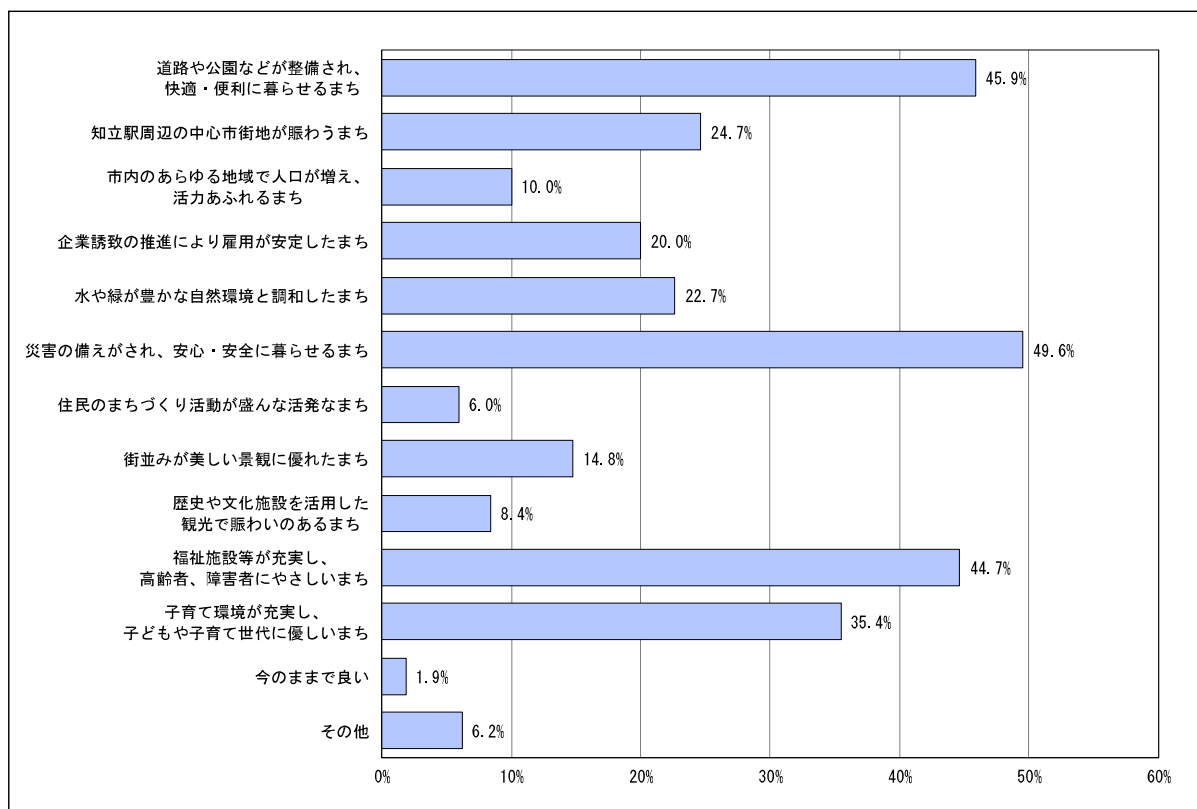
■ 知立駅から電車を利用する頻度

2-2 知立市全体について

(1) 知立市全体の今後のまちの展望

設問2：知立市は、今後（おおむね10年後）、どのような「まち」になったら良いと思いますか。次の中から3つまでを選んで番号に○を付けてください。

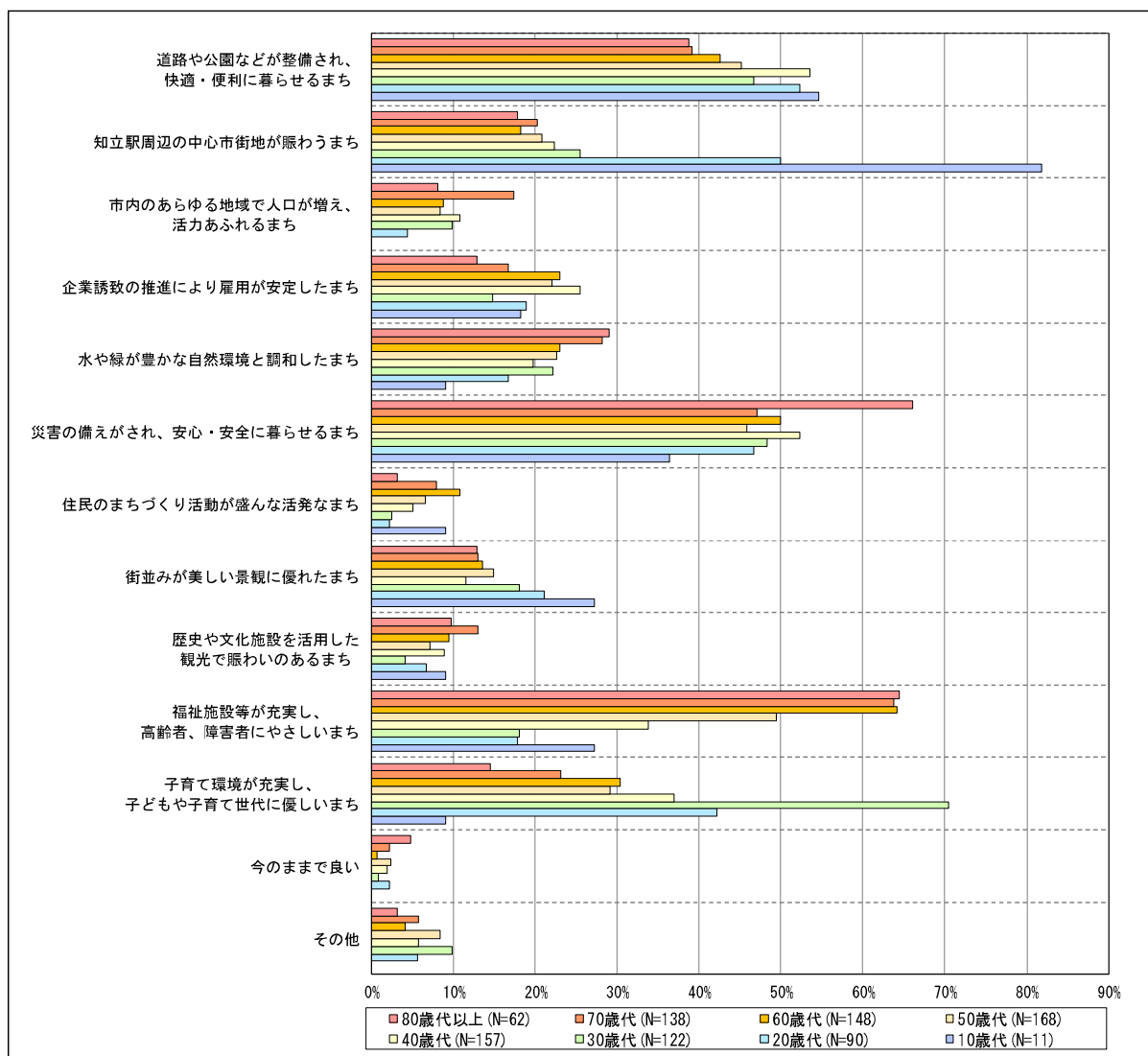
「災害の備えがされ、安心・安全に暮らせるまち」が49.6%と最も高く、次いで「道路や公園などが整備され、快適・便利に暮らせるまち」や「福祉施設等が充実し、高齢者、障害者にやさしいまち」、「子育て環境が充実し、子どもや子育て世代に優しいまち」が高くなっています。



■ 知立市全体の今後のまちの展望（全体）

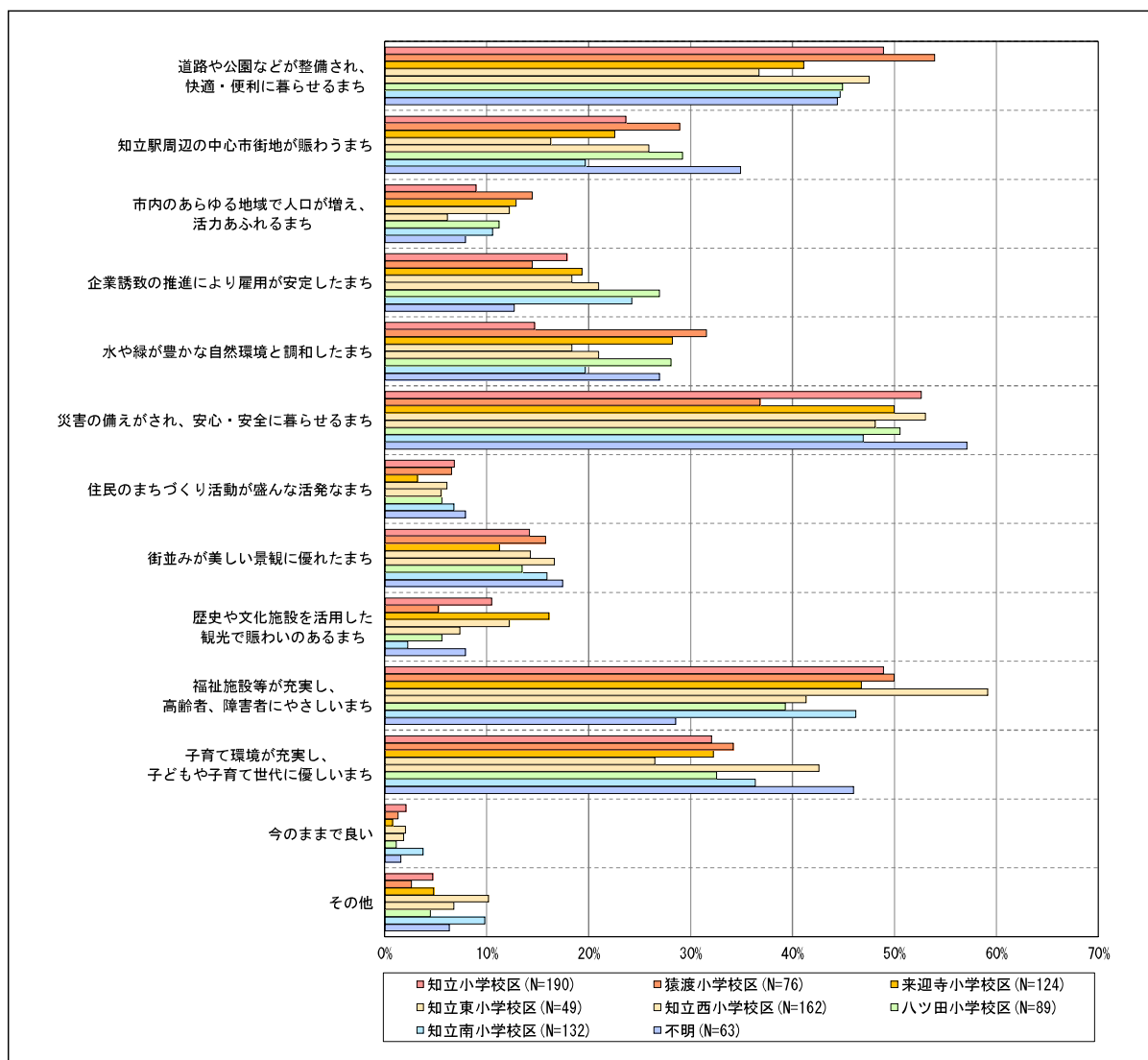
年齢別にみると、「知立駅周辺の中心市街地が賑わう」は「10 歳代」では 80%以上、「20 歳代」では約 50%と高くなっています。また、「災害の備えがされ、安心・安全に暮らせるまち」はどの年齢でも高くなっていますが、特に 80 歳代以上で高くなっています。

また、「福祉施設等が充実し、高齢者、障害者にやさしいまち」は、60 歳代以上で 60%を超えるなど高くなっている一方で、30 歳代の「子育て環境が充実し、子どもや子育て世代に優しいまち」が 70%以上となっています。



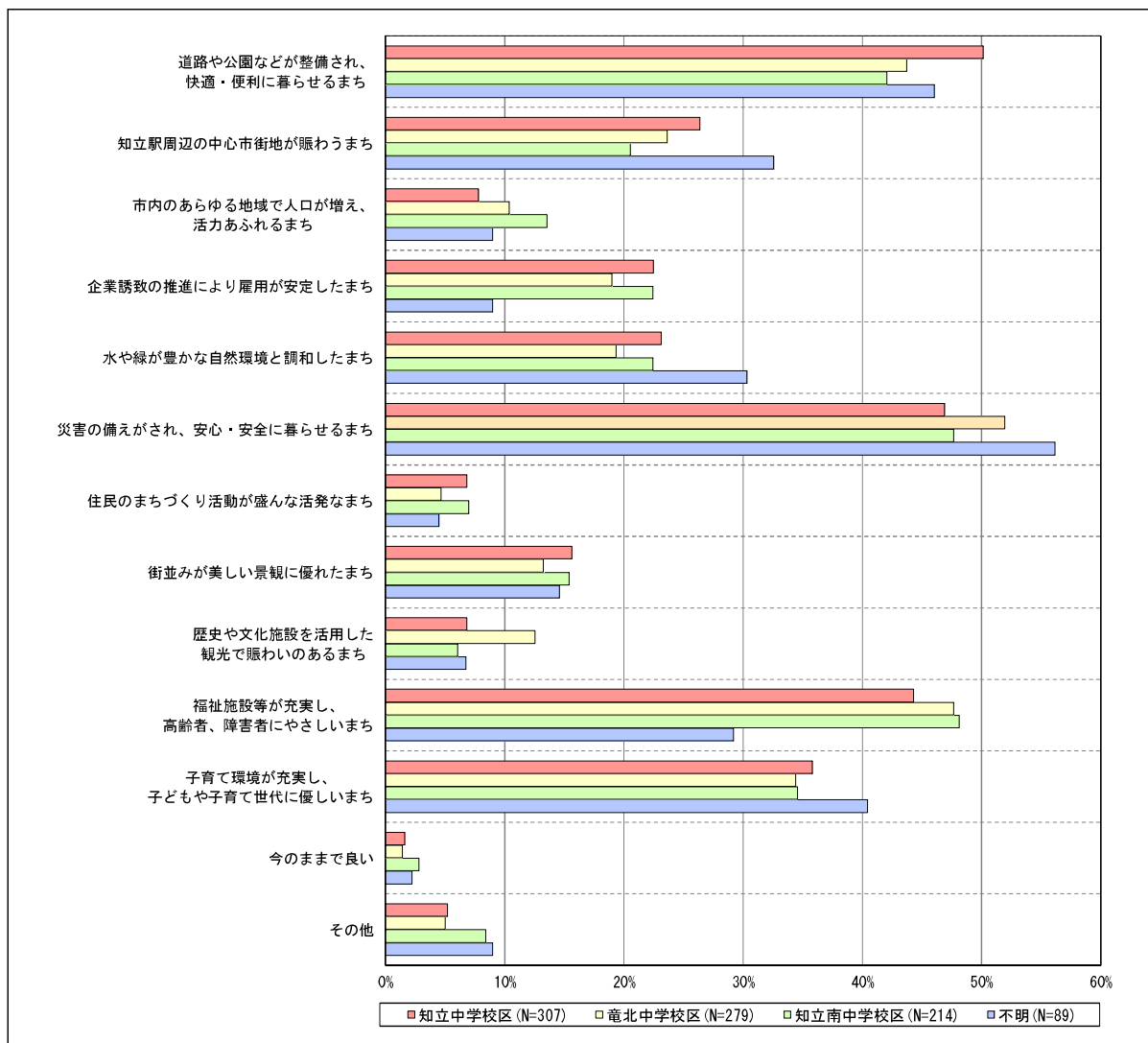
■知立市全体の今後のまちの展望（年齢別）

小学校区別にみると、猿渡小学校区では「道路や公園などが整備され、快適・便利に暮らせるまち」、知立東小学校区では「福祉施設等が充実し、高齢者、障害者にやさしいまち」が50%以上と最も高くなっています。その他の小学校区では「災害の備えがされ、安心・安全に暮らせるまち」が約50%で最も高くなっています。



■ 知立市全体の今後のまちの展望（小学校区別）

中学校区別にみると、知立中学校区では「道路や公園などが整備され、快適・便利に暮らせるまち」、知立南中学校区では「福祉施設等が充実し、高齢者、障害者にやさしいまち」が約 50%で最も高くなっています。また、竜北中学校区では「災害の備えがされ、安心・安全に暮らせるまち」が 50%以上で最も高くなっています。

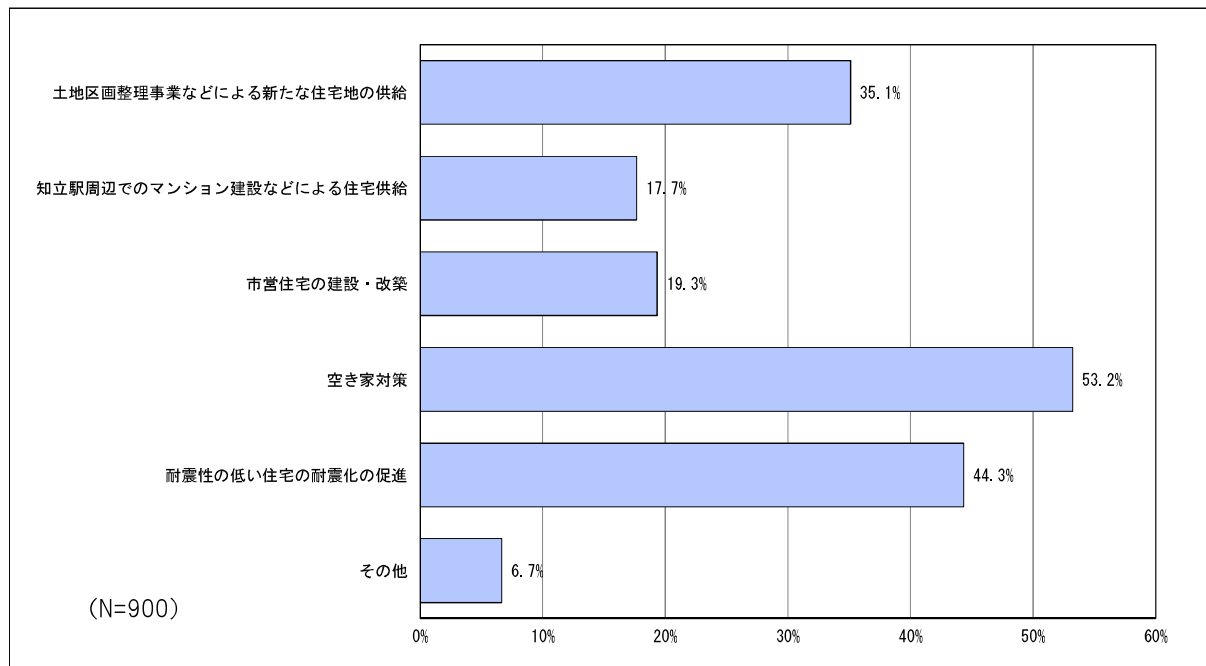


■ 知立市全体の今後のまちの展望（中学校区別）

(2) 住宅環境に関する今後の方向性

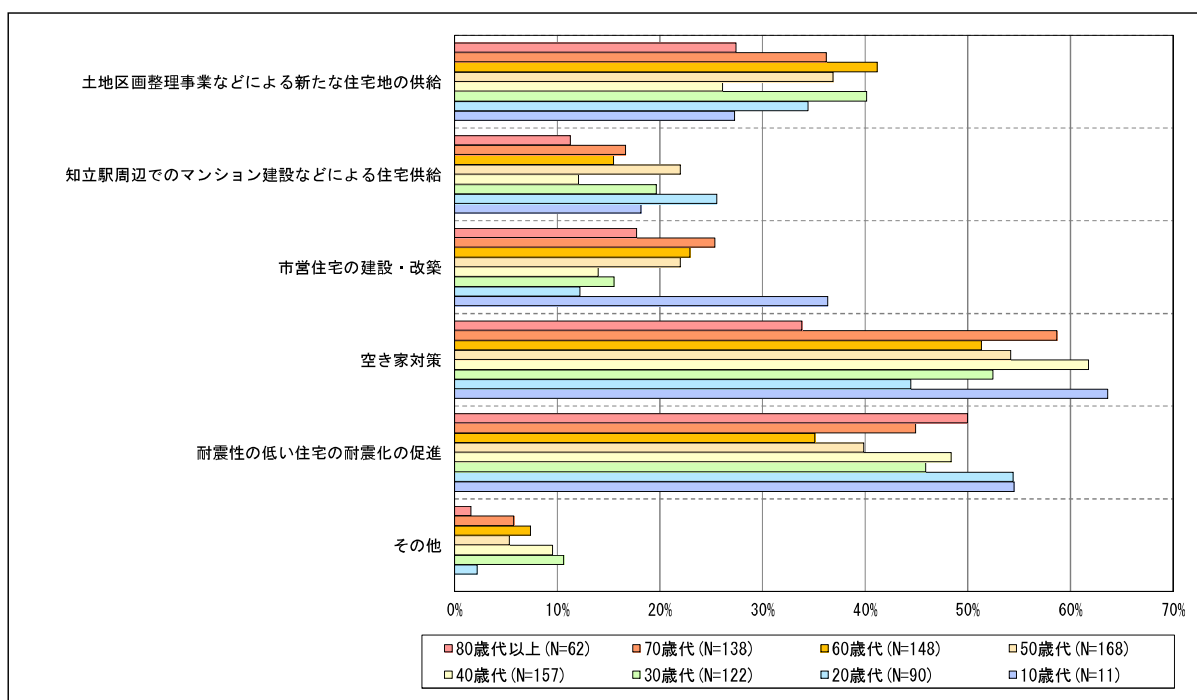
設問3：知立市の住宅環境について、今後どのようなまちづくりを行っていきべきだと思いますか。次の中から行っていきべきと思う番号全てに○を付けてください。

「空き家対策」が53.2%と最も高く、次いで「耐震性の低い住宅の耐震化の促進」が44.3%、「土地区画整理事業などによる新たな住宅地の供給」が35.1%となっています。



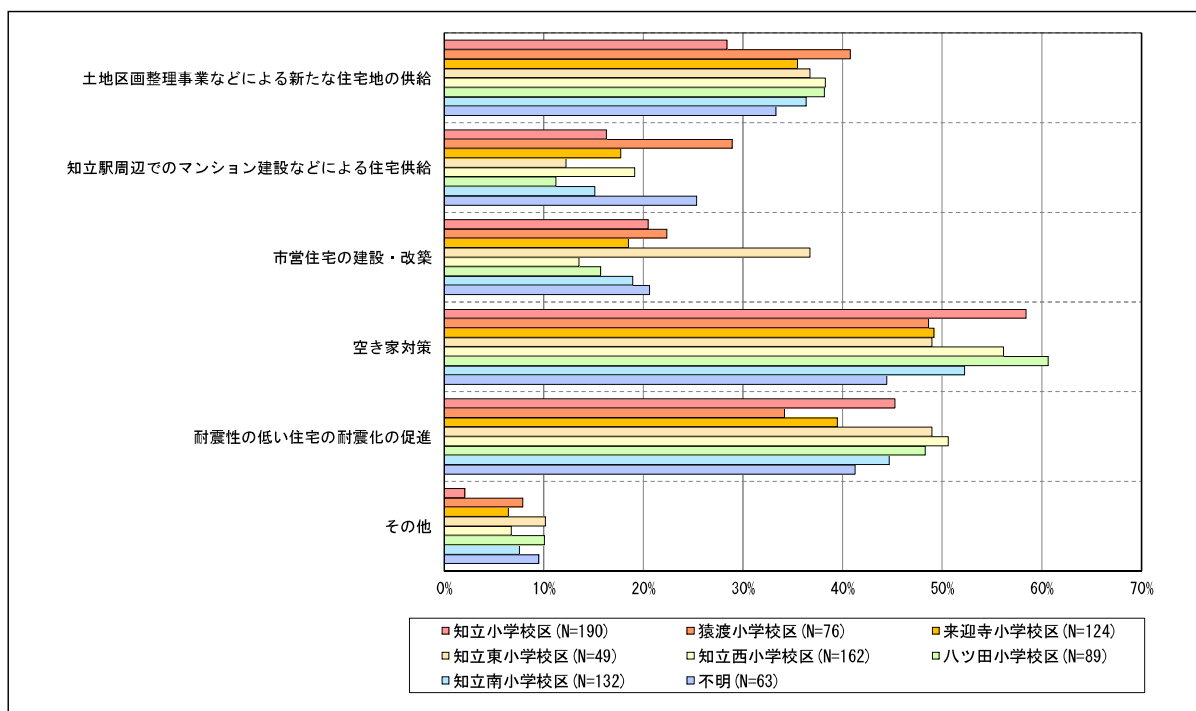
■ 住宅環境に関する今後の方向性（全体）

年齢別にみると、20 歳代と 80 歳以上では「耐震性の低い住宅の耐震化の促進」が約 50%で最も高くなっています。その他の年齢では「空き家対策」が 50%以上と最も高くなっています。



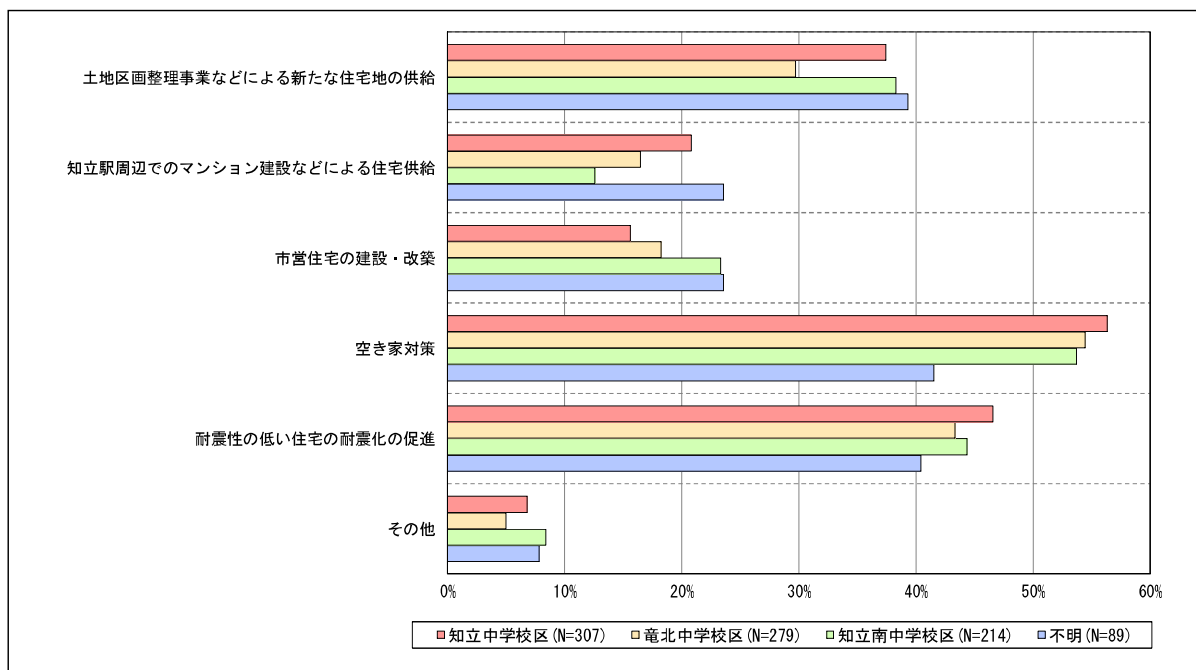
■住宅環境に関する今後の方向性（年齢別）

小学校区別にみると、知立東小学校区では「耐震性の低い住宅の耐震化の促進」と「空き家対策」が高くなっており、その他の小学校区では「空き家対策」が約 50%以上で最も高くなっています。



■住宅環境に関する今後の方向性（小学校区別）

中学校区別にみると、すべての中学校区で「空き家対策」が 50%以上と最も高くなっています。

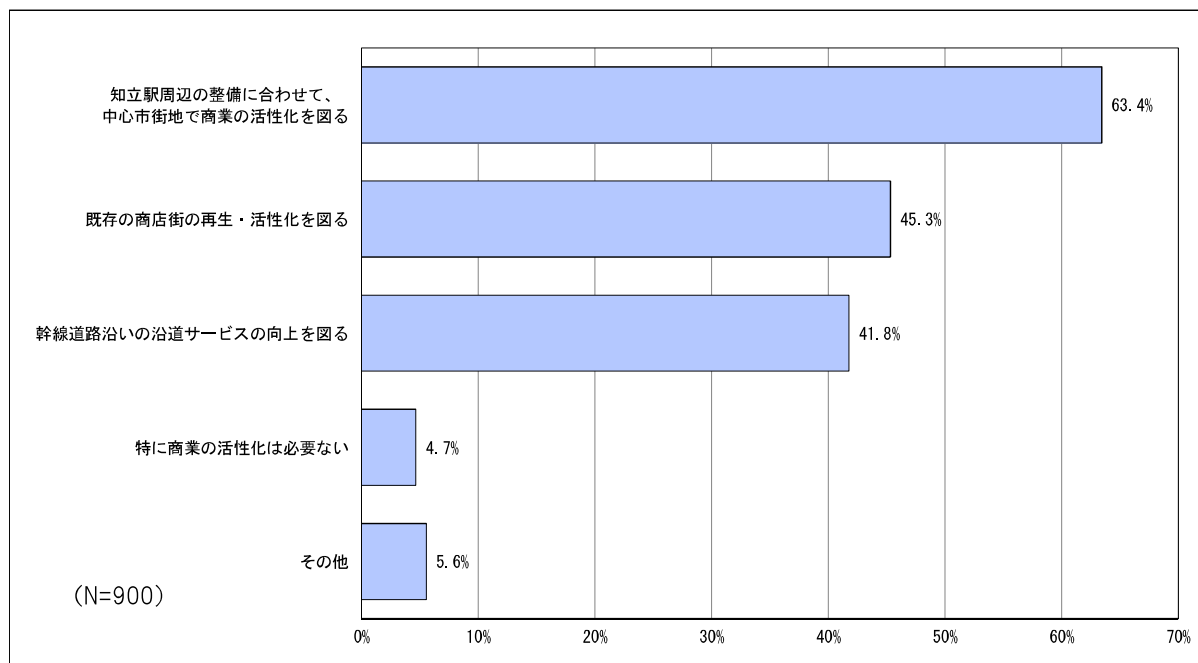


■住宅環境に関する今後の方向性（中学校区別）

(3) 商業の活性化に関する今後の方向性

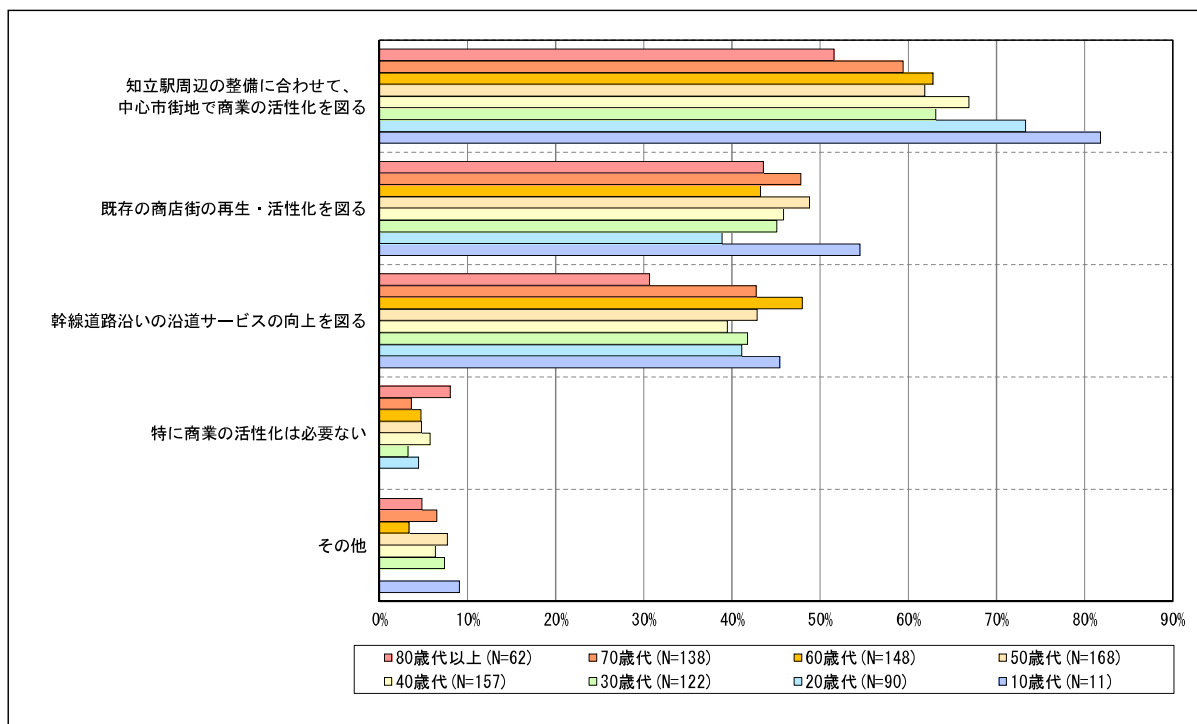
設問4：知立市の商業の活性化について、今後どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。次の中から行っていくべきと思う番号全てに○を付けてください。

「知立駅周辺の整備に合わせて、中心市街地で商業の活性化を図る」が63.4%と最も高く、次いで「既存の商店街の再生・活性化を図る」が45.3%、「幹線道路沿いの沿道サービスの向上を図る」が41.8%となっています。



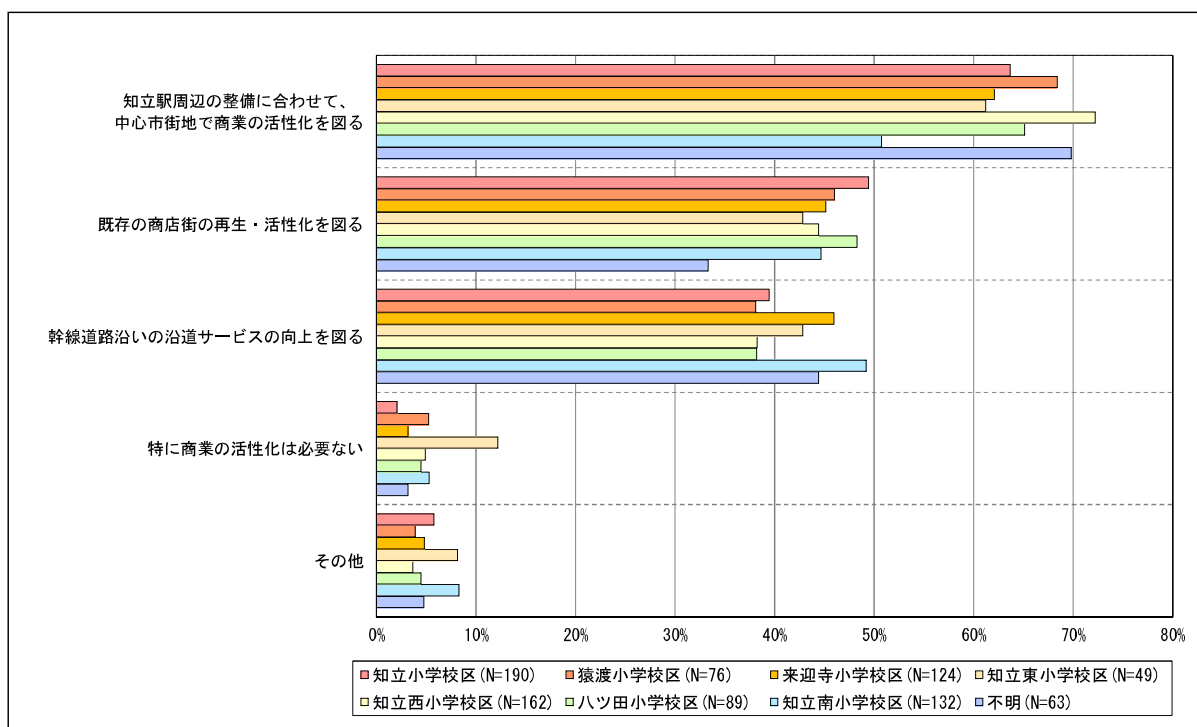
■ 商業の活性化に関する今後の方向性（全体）

年齢別にみると、すべての年齢で「知立駅周辺の整備に合わせて、中心市街地で商業の活性化を図る」が50%～80%と最も高くなっています。特に、若い世代の方の割合が高くなっています。



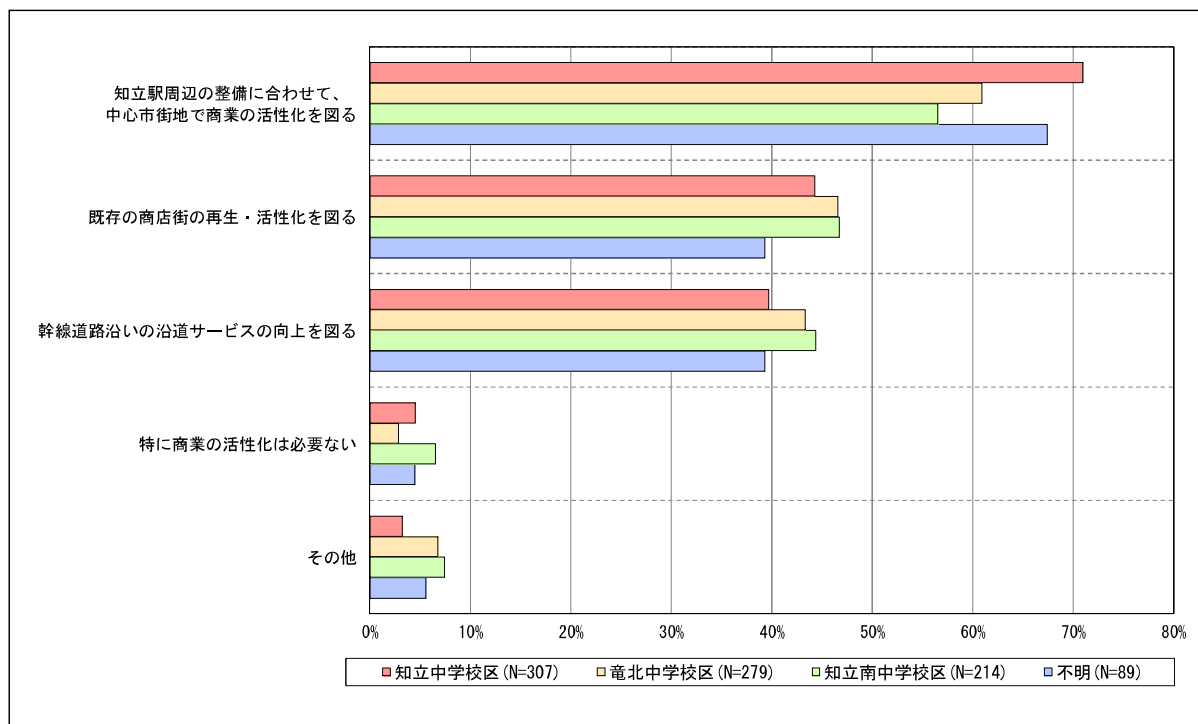
■商業の活性化に関する今後の方向性（年齢別）

小学校区別にみると、すべての小学校区で「知立駅周辺の整備に合わせて、中心市街地で商業の活性化を図る」が50%～70%と最も高くなっています。



■商業の活性化に関する今後の方向性（小学校区別）

中学校区別にみると、すべての中学校区で「知立駅周辺の整備に合わせて、中心市街地で商業の活性化を図る」が50%～70%と最も高くなっています。知立駅から距離のある知立南中学校区は、他の中学校区と比較し割合が低くなっています。



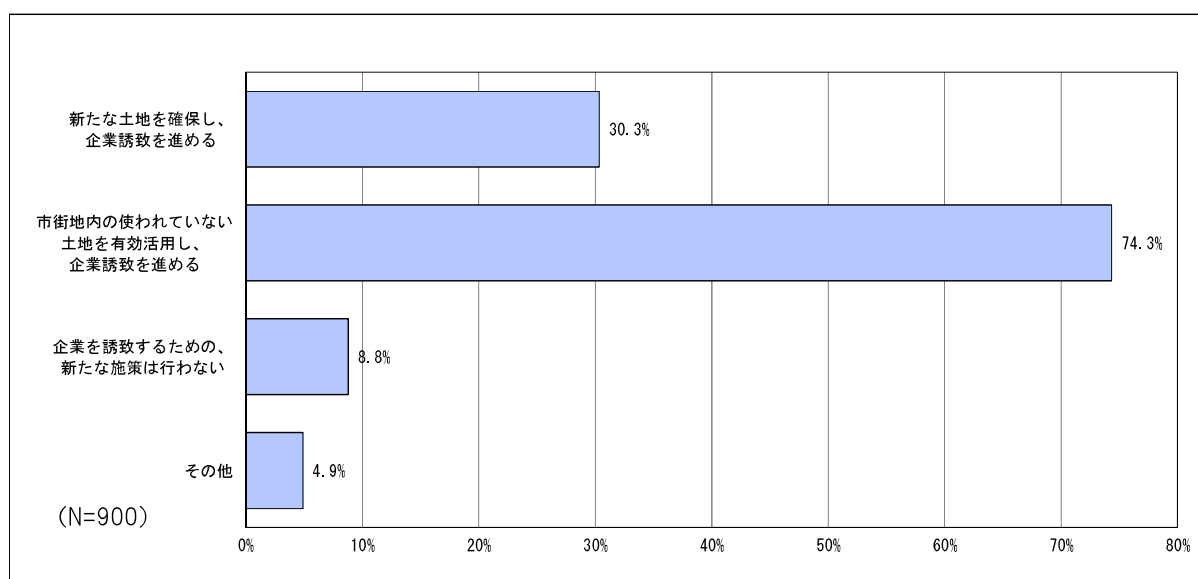
■商業の活性化に関する今後の方向性（中学校区別）

(4) 産業振興に関する今後の方向性

設問5：西三河地域は製造業などの産業が盛んな地域ですが、本市においても、より産業の活性化が必要だと考えています。

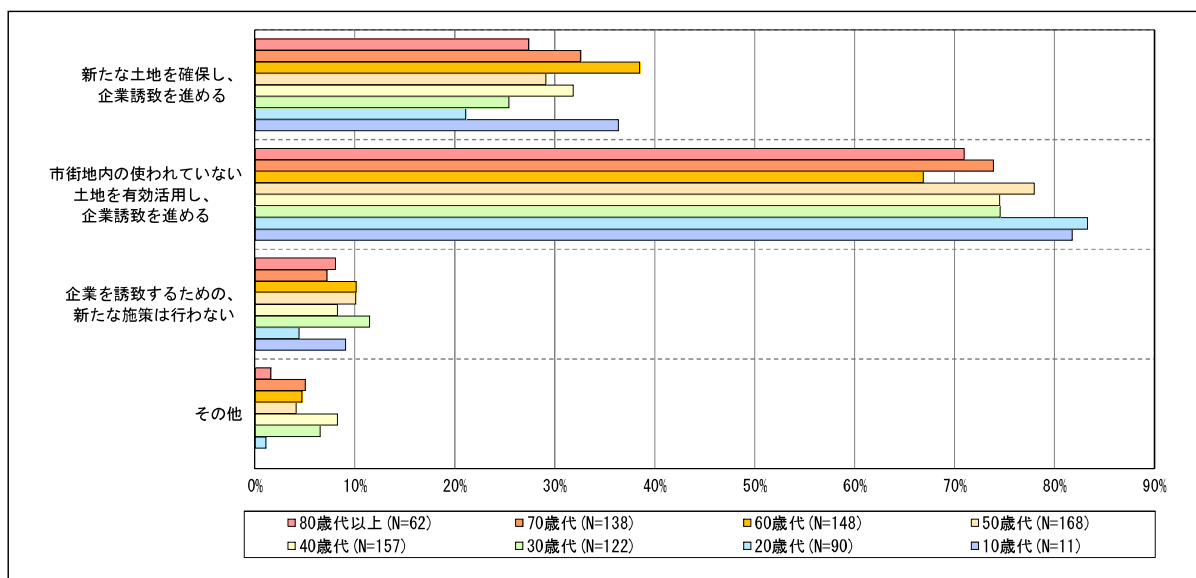
今後、知立市の産業振興に向けて、どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。次の中から行っていくべきと思う番号全てに○を付けてください。

「市街地内の使われていない土地を有効活用し、企業誘致を進める」が74.3%と最も高く、次いで「新たな土地を確保し、企業誘致を進める」が30.3%、「企業を誘致するための、新たな施策は行わない」が8.8%となっています。



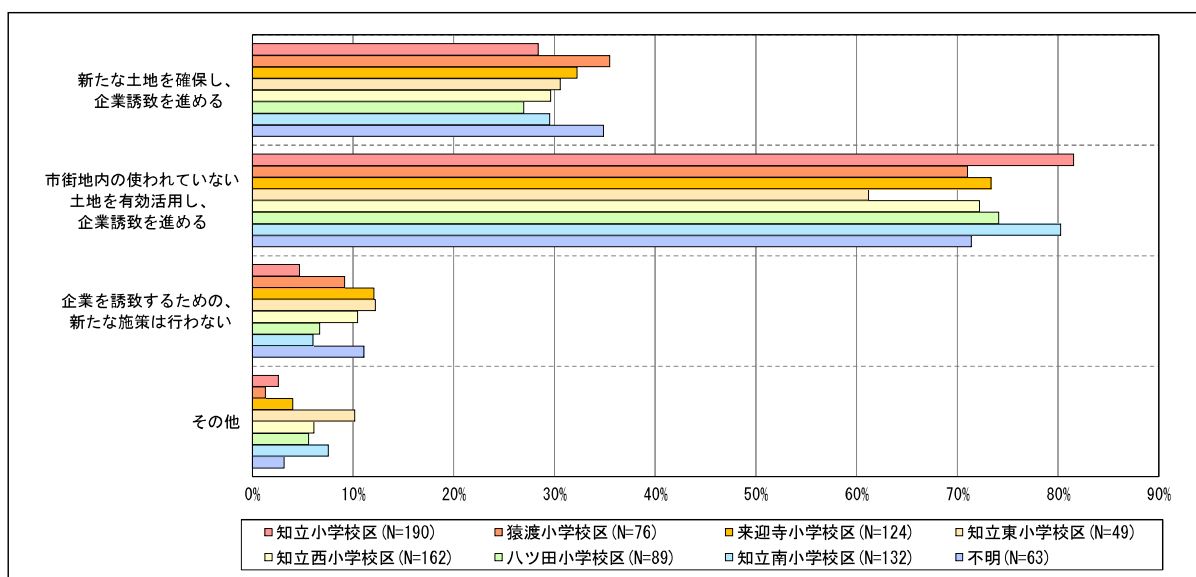
■産業振興に関する今後の方向性（全体）

年齢別にみると、すべての年齢で「市街地内の使われていない土地を有効活用し、企業誘致を進める」が60%以上と最も高くなっています。60歳代は、他の年齢層と比較し、「新たな土地を確保し、企業誘致を進める」が高く、「市街地内の使われていない土地を有効活用し、企業誘致を進める」が低くなっています。



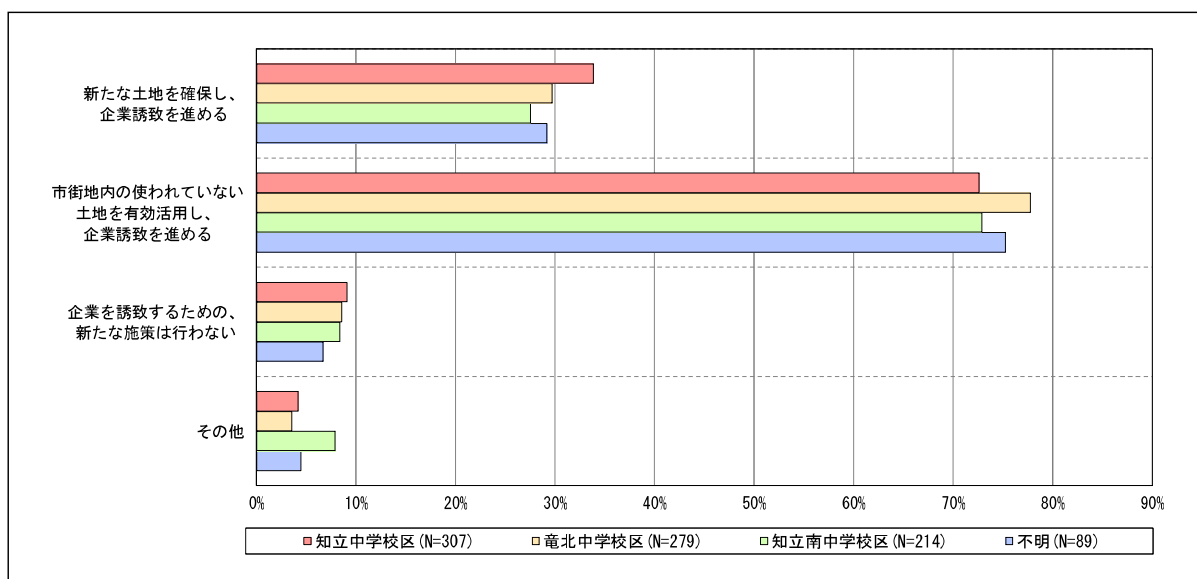
■産業振興に関する今後の方向性（年齢別）

小学校区別にみると、すべての小学校区で「市街地内の使われていない土地を有効活用し、企業誘致を進める」が60%以上と最も高くなっています。



■産業振興に関する今後の方向性（小学校区別）

中学校区別にみると、すべての中学校区で「市街地内の使われていない土地を有効活用し、企業誘致を進める」が70%以上と最も高くなっています。



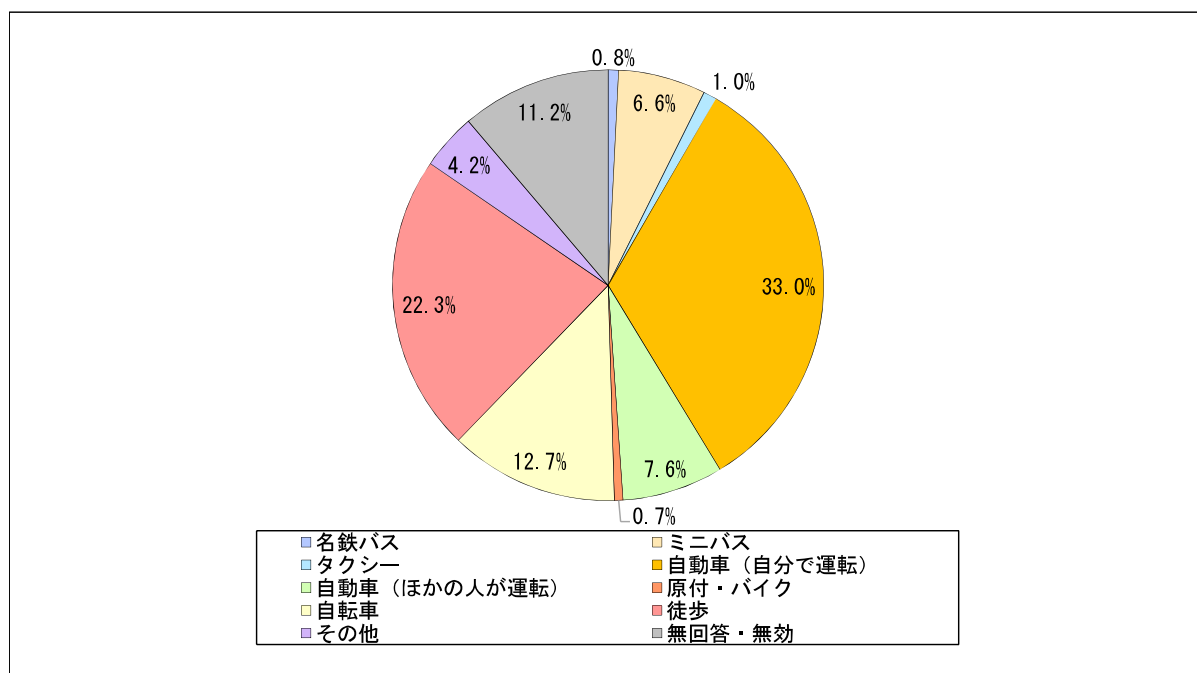
■産業振興に関する今後の方向性（中学校区別）

2－3 知立駅周辺について

(1) 知立駅または知立駅周辺への交通手段

設問6：知立駅または知立駅周辺に行く場合、主にどのような交通手段で行きますか。次の中から主な交通手段を1つ選んで番号に○を付けてください。

「自動車(自分で運転)」が33.0%で最も高く、次いで徒歩が22.3%、自転車が12.7%となっています。

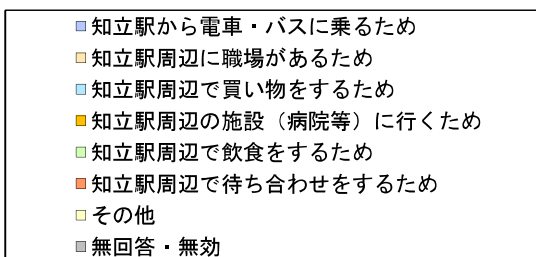
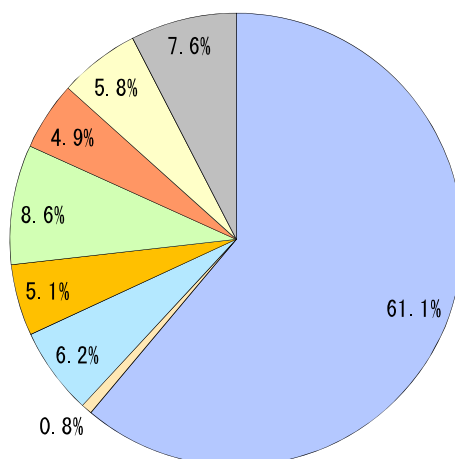


■ 知立駅または知立駅周辺への交通手段

(2) 知立駅または知立駅周辺を訪れる目的

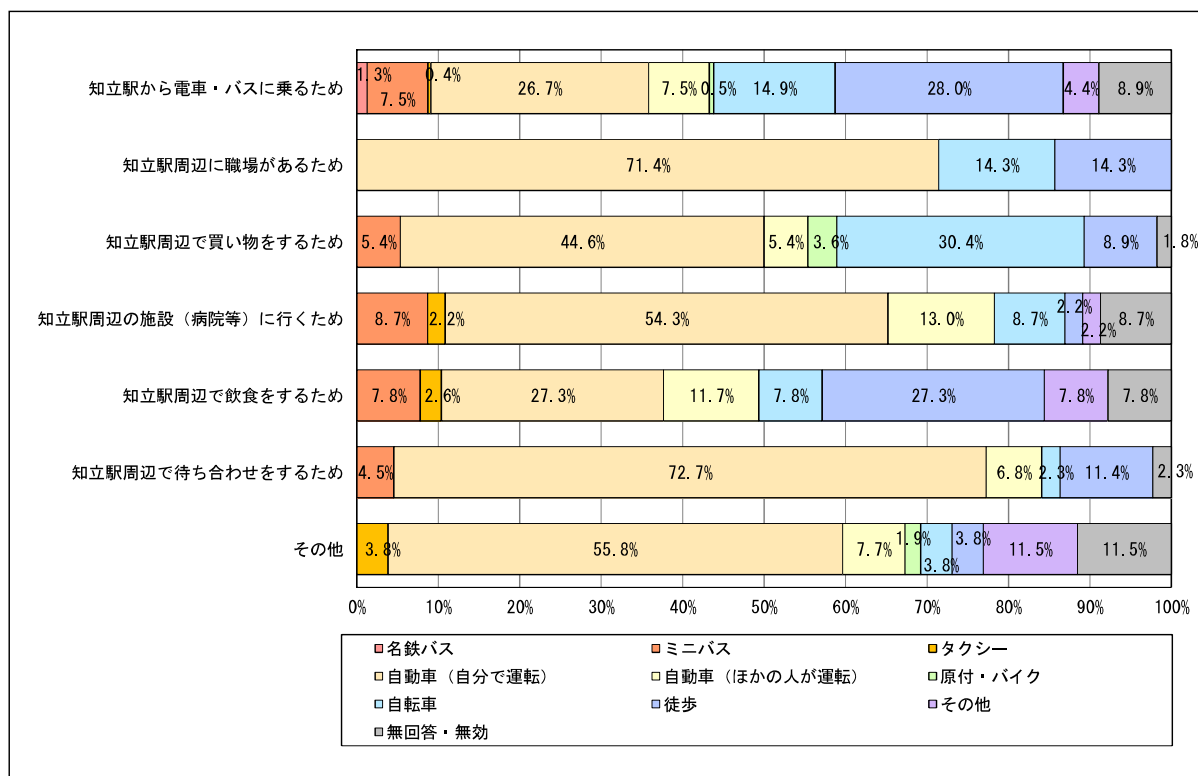
設問7：知立駅または知立駅周辺を訪れる主な目的を教えてください。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「知立駅から電車・バスに乗るため」が61.1%で最も高く、次いで「知立駅周辺で飲食をするため」が8.6%、「知立駅周辺で買い物をするため」が6.2%となっています。



■ 知立駅または知立駅周辺を訪れる目的

知立駅または知立駅周辺への交通手段を目的別にみると、「知立駅から電車・バスに乗るため」では徒歩が28.0%で最も高くなっています。また、「知立駅周辺で飲食をするため」では「自動車（自分で運転）」と「徒歩」が27.3%で最も高くなっています。その他の目的では「自動車（自分で運転）」が40%～75%で最も高くなっています。

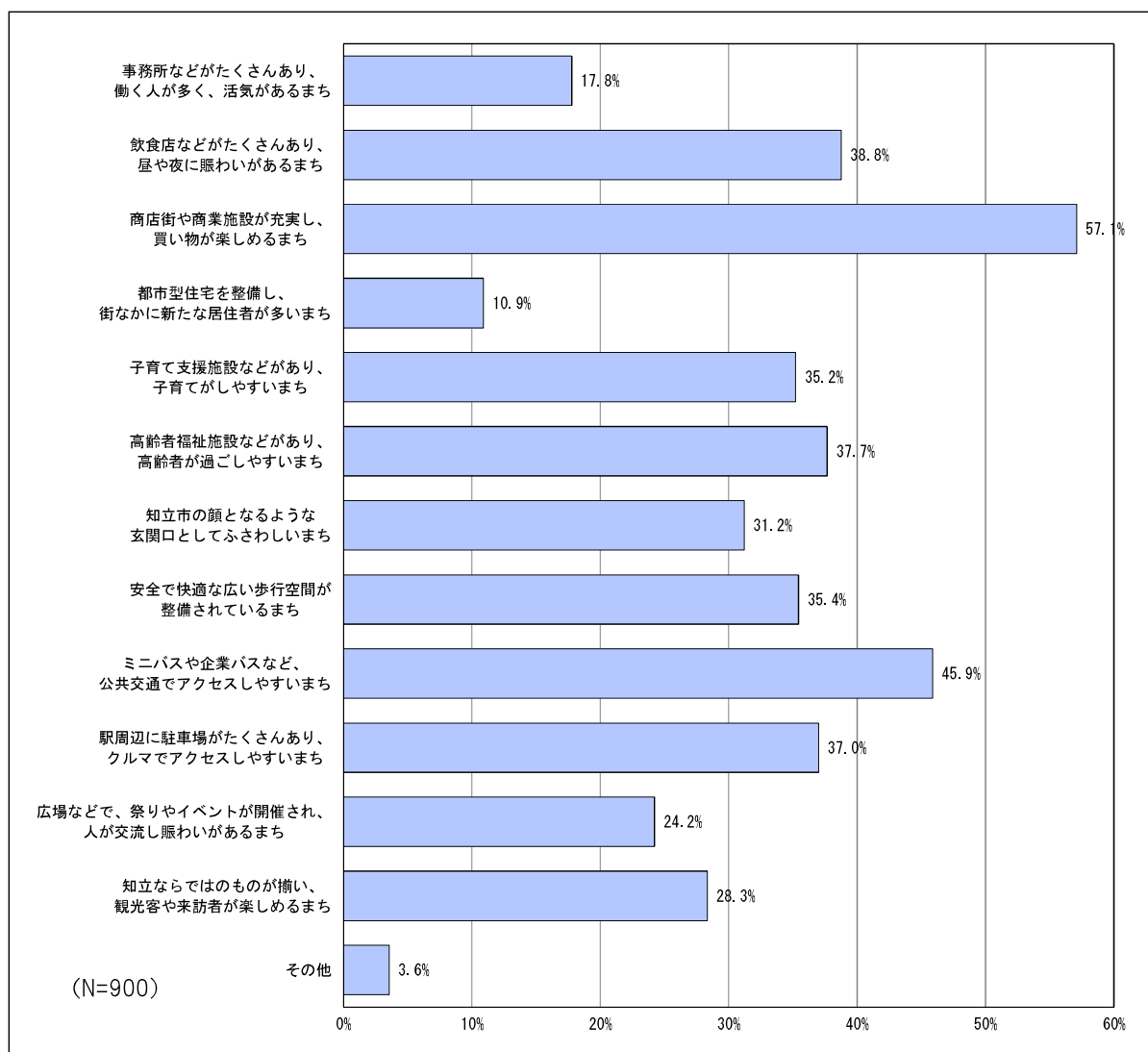


■ 知立駅または知立駅周辺への交通手段（目的別）

(3) 知立駅周辺の今後のまちづくりの展望

設問8：知立駅周辺の今後のまちづくりについて、どのようなまちになって欲しいと思いますか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「商店街や商業施設が充実し、買い物が楽しめるまち」が57.1%で最も高く、次いで「ミニバスや企業バスなど、公共交通でアクセスしやすいまち」が45.9%、次いで「飲食店などがたくさんあり、昼や夜に賑わいがあるまち」が38.8%となっています。

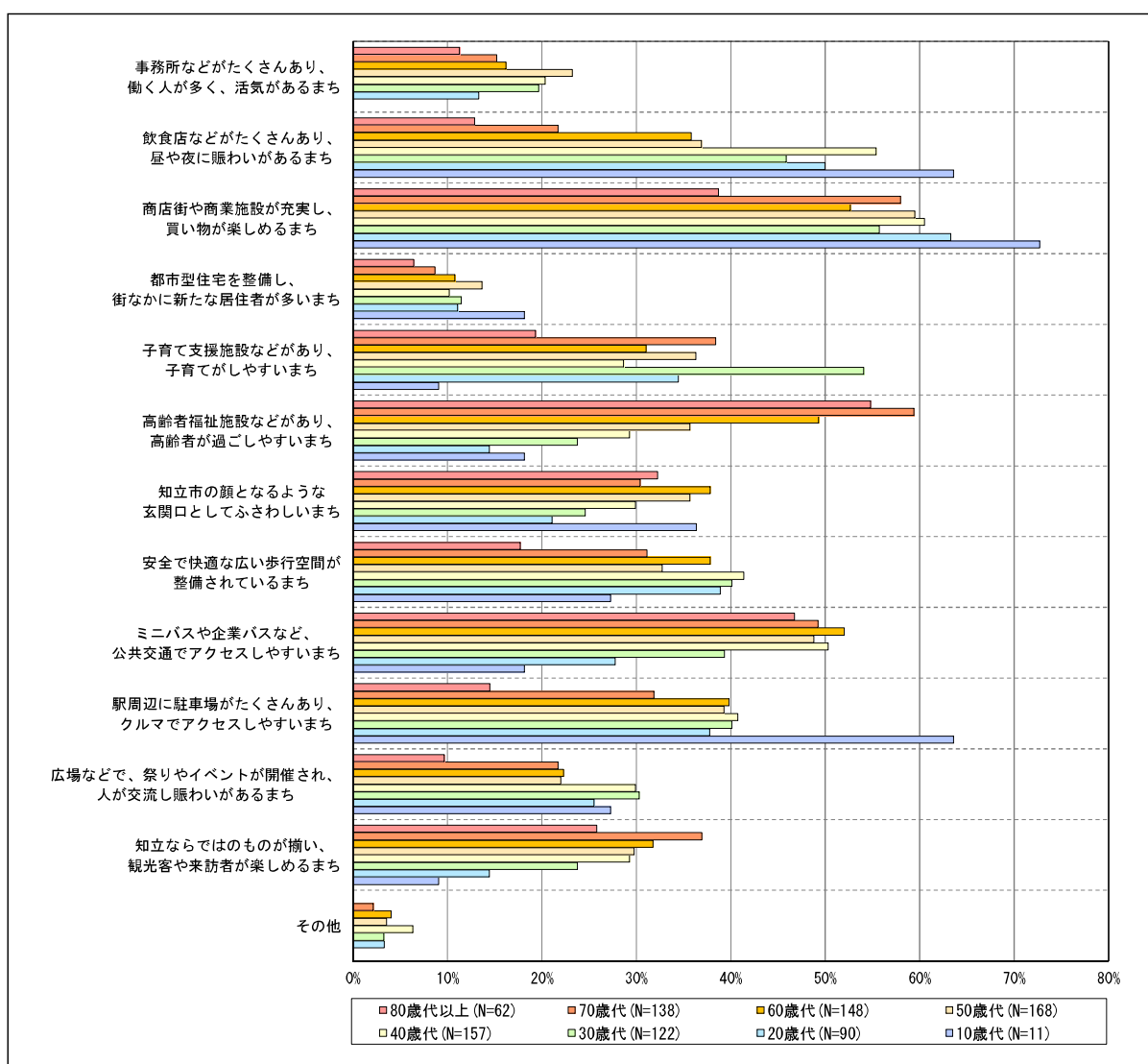


■ 知立駅周辺の今後のまちの展望（全体）

年齢別にみると、70 歳代と 80 歳以上では「高齢者福祉施設などがあり、高齢者が過ごしやすいまち」が 50%以上と最も高くなっています。また、10 歳代から 60 歳代では「商店街や商業施設が充実し、買い物が楽しめるまち」が 50%以上と最も高くなっています。

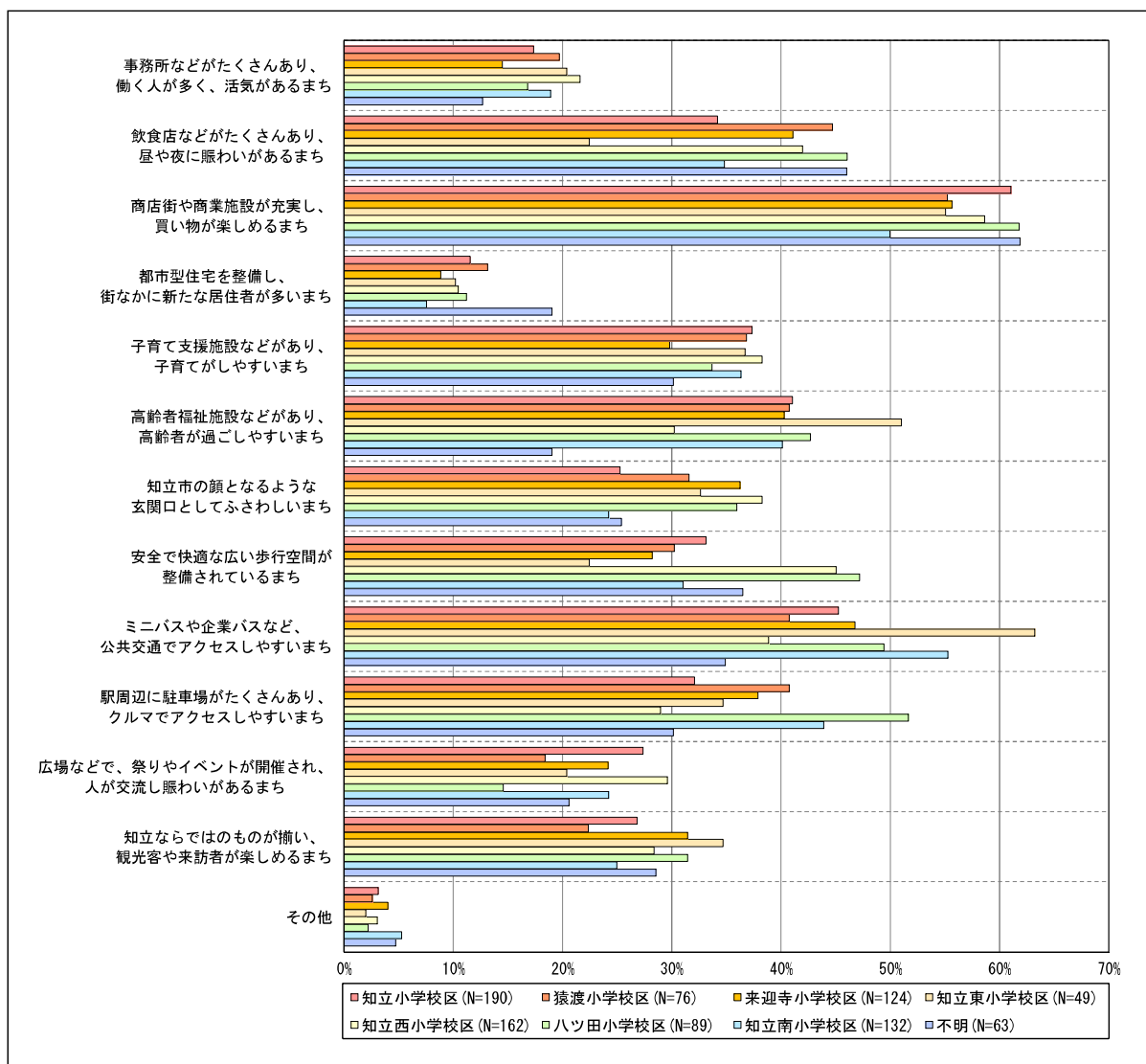
また、「子育て支援施設などがあり、子育てがしやすいまち」は、30 歳代で 55%となっています。知立市全体の今後のまちの展望において「子育て環境が充実し、子どもや子育て世代に優しいまち」は 30 歳代で 70%を超えており、市全体と比較すると、知立駅周辺における割合はあまり高くない状況です。

「ミニバスや企業バスなど、公共交通でアクセスしやすいまち」は 40 歳代以上で割合が高くなっています。



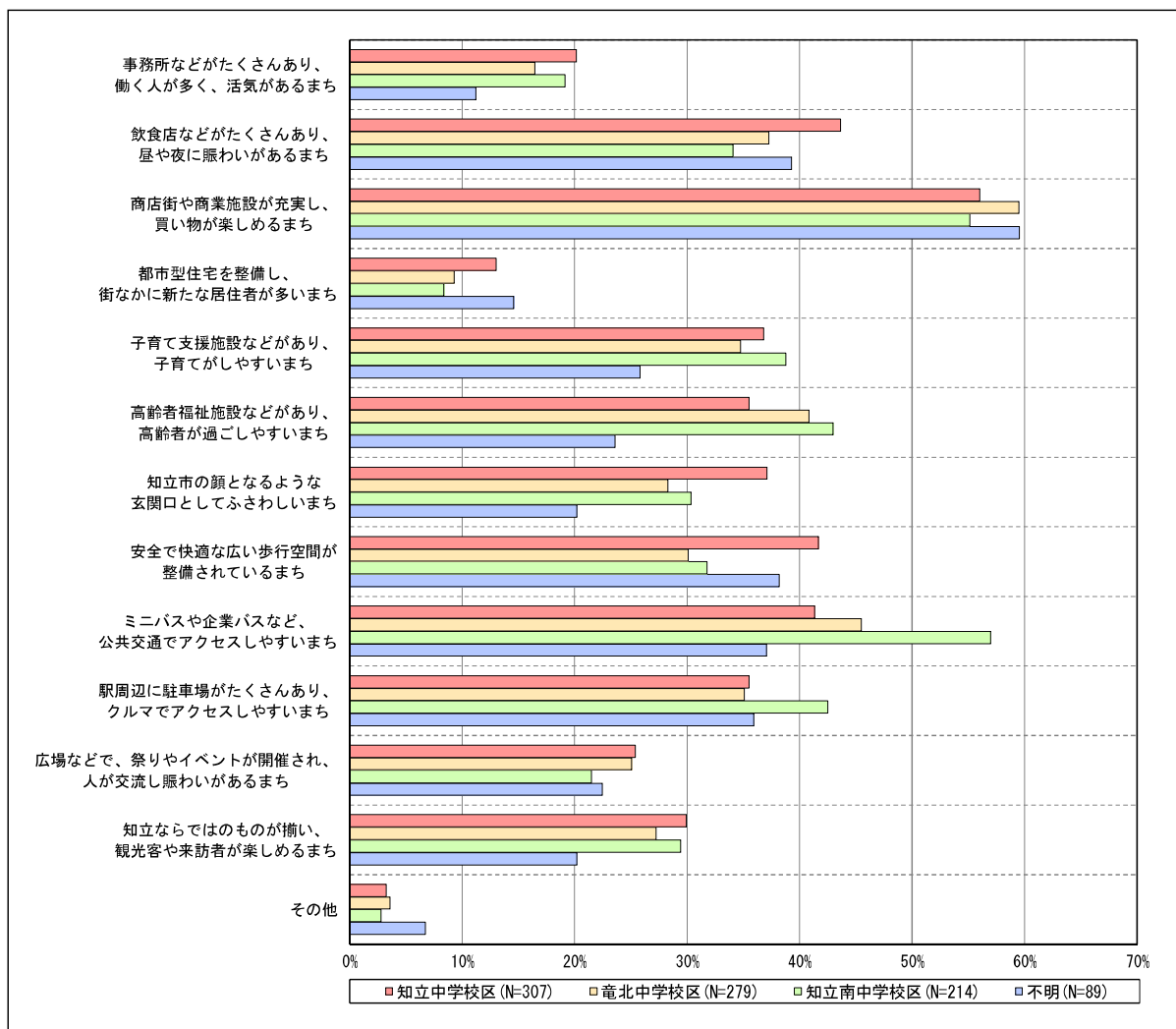
■ 知立駅周辺の今後のまちの展望（年齢別）

小学校区別にみると、知立東小学校区と知立南中学校区では「ミニバスや企業バスなど、公共交通でアクセスしやすいまち」が約 60%と最も高くなっています。その他の小学校区では「商店街や商業施設が充実し、買い物が楽しめるまち」が 50%以上と最も高くなっています。



■ 知立駅周辺の今後のまちの展望（小学校区別）

中学校区別にみると、知立南中学校区で「ミニバスや企業バスなど、公共交通でアクセスしやすいまち」が57.0%で最も高くなっています。その他の中学校区で「商店街や商業施設が充実し、買い物が楽しめるまち」が約60%で最も高くなっています。

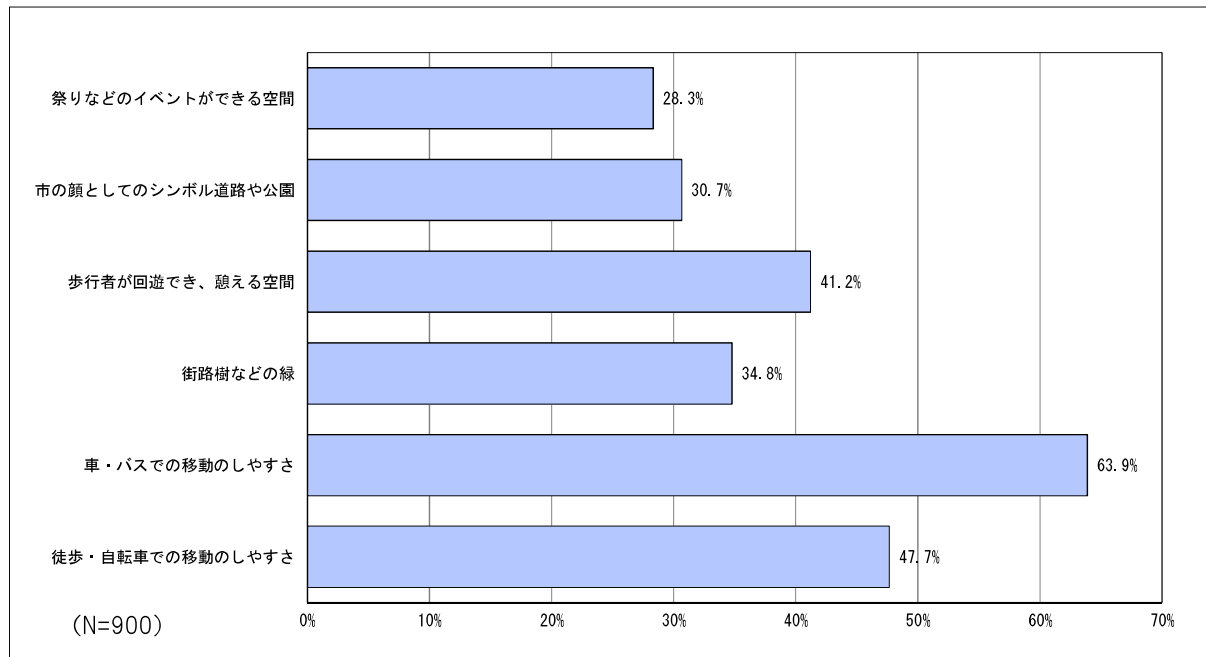


■ 知立駅周辺の今後のまちの展望（中学校区別）

(4) 知立駅周辺の開発事業について

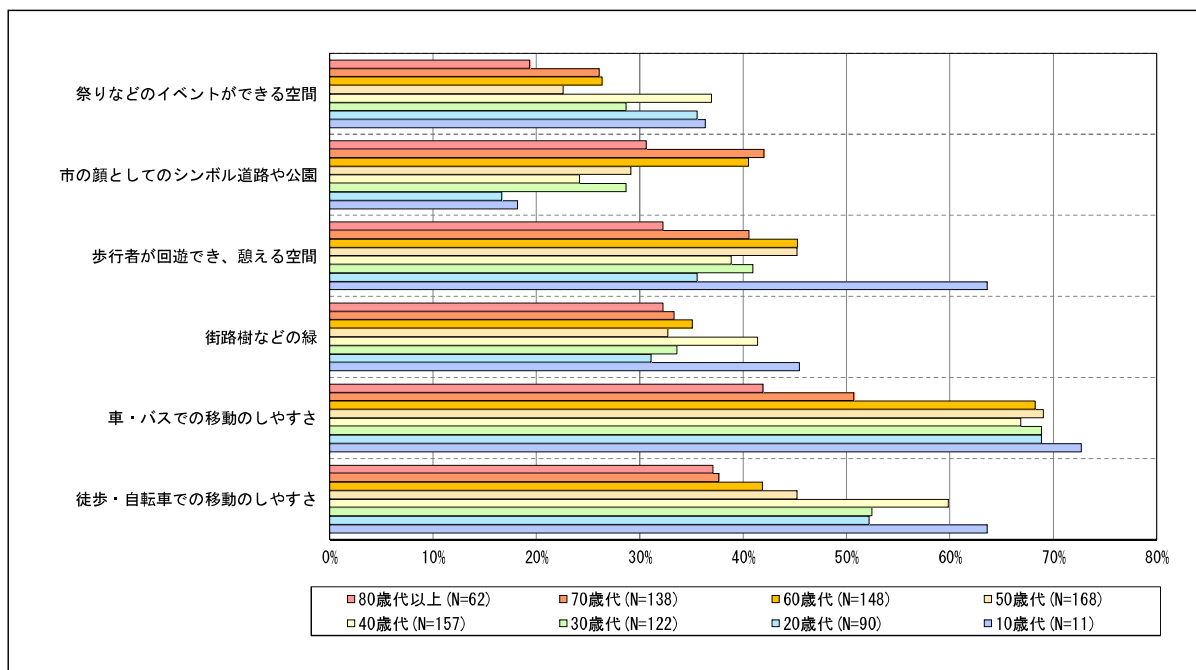
設問9：知立駅周辺の開発事業（道路整備等）について、次の中から大切だと思う番号全てに○を付けてください。

「車・バスでの移動のしやすさ」が63.9%と最も高く、次いで「徒歩・自転車での移動のしやすさ」が47.7%、「歩行者が回遊でき、憩える空間」が41.2%となっています。



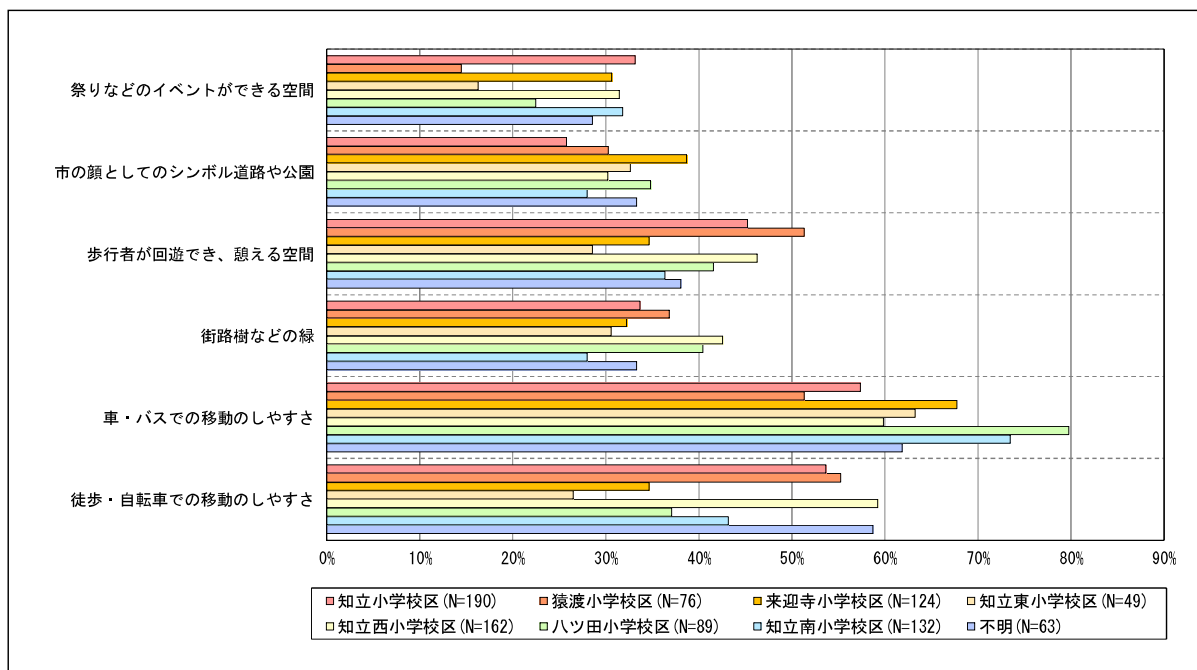
■ 知立駅周辺の開発事業について（全体）

年齢別にみると、特に10歳代から60歳代で「車・バスでの移動のしやすさ」の割合が高くなっています。また、「徒歩・自転車での移動のしやすさ」は10歳代から40歳代で高くっており、生産年齢世代は、移動の面が大切だと考えている傾向にあります。



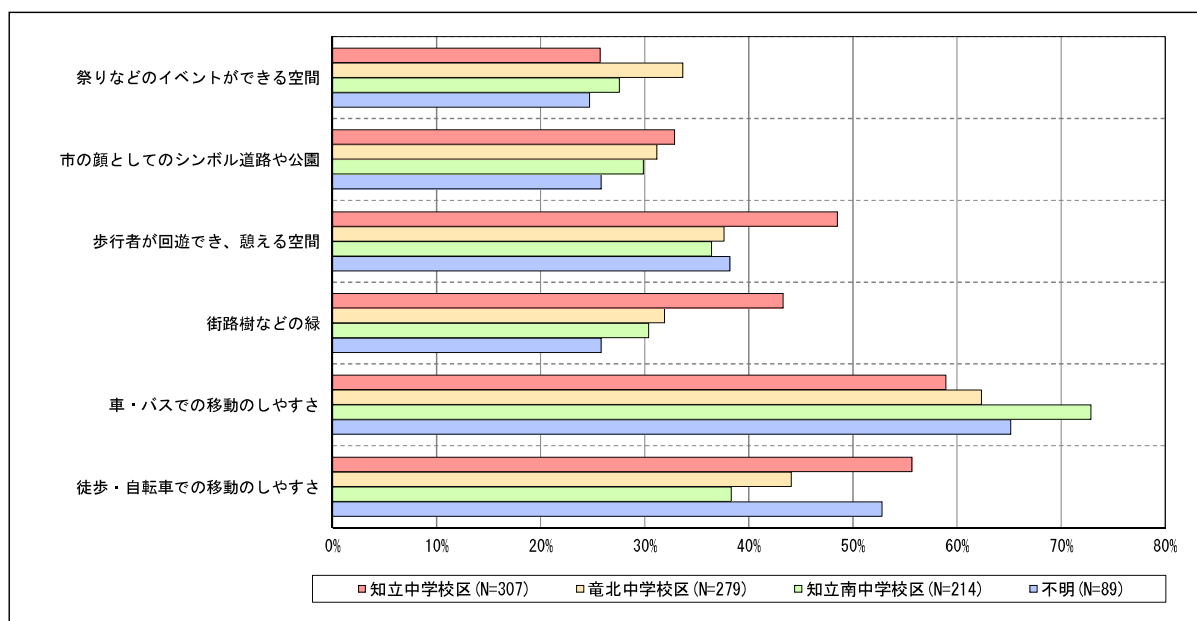
■知立駅周辺の開発事業について（年齢別）

小学校区別にみると、猿渡小学校区では「徒歩・自転車での移動のしやすさ」が約 60%と最も高くなっています。その他の小学校区では「車・バスでの移動のしやすさ」が約 60%～80%と最も高くなっています。



■ 知立駅周辺の開発事業について（小学校区別）

中学校区別にみると、すべての中学校区で「車・バスでの移動のしやすさ」が約 60%～70%と最も高くなっています。



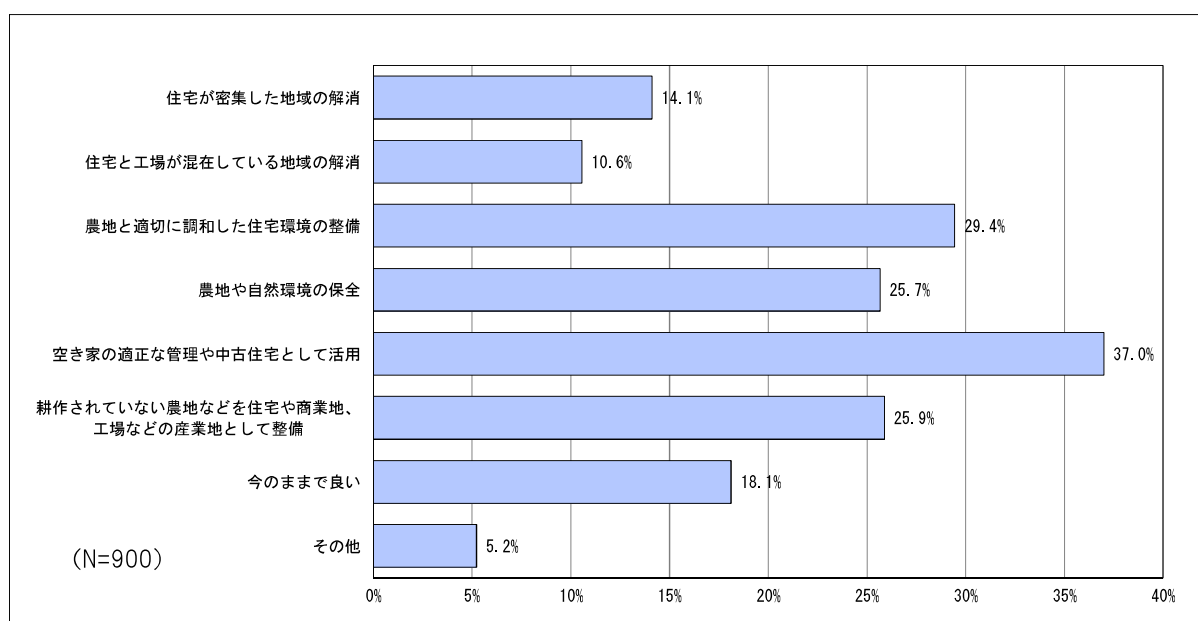
■ 知立駅周辺の開発事業について（中学校区別）

2-4 お住まいの地区について

(1) お住まいの地区の土地利用について

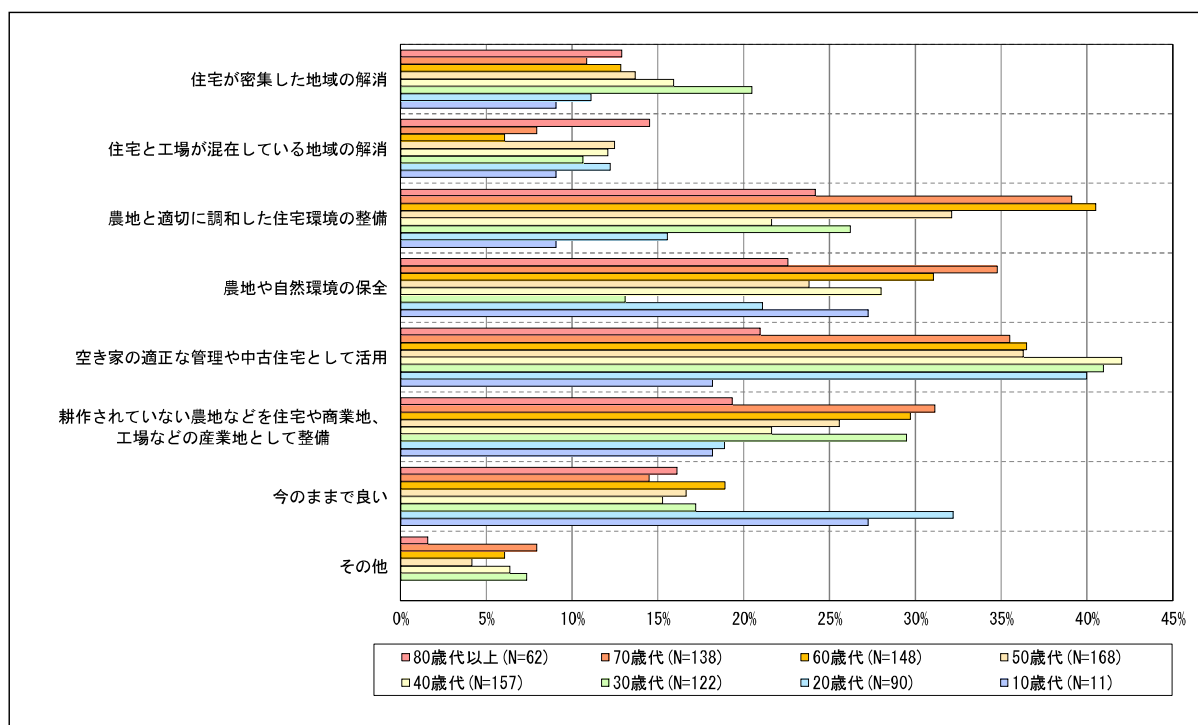
設問 10：お住まいの地区の土地利用について、どのような取組が大切だと思いますか。次の中から大切だと思う番号全てに○を付けてください。

「空き家の適正な管理や中古住宅として活用」が 37.0%と最も高く、次いで「農地と適切に調和した住宅環境の整備」が 29.4%、次いで「耕作されていない農地などを住宅や商業地、工場などの産業地として整備」が 25.9%となっています。



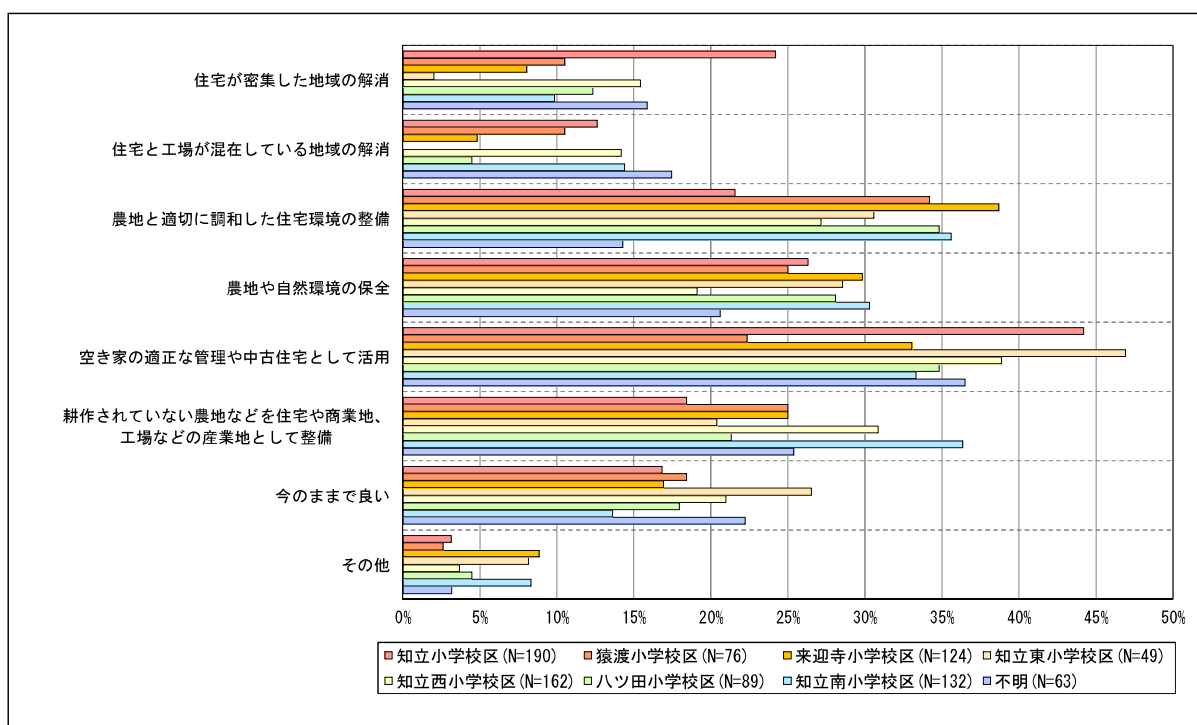
■ お住まいの地区の土地利用について（全体）

年齢別にみると、10 歳代では「農地や自然環境の保全」と「今のままで良い」が約 30% で最も高くなっています。また、20 歳代から 50 歳代では「空き家の適正な管理や中古住宅として活用」の割合が高く、60 歳代から 80 歳以上では「農地と適切に調和した住宅環境の整備」や「農地や自然環境の保全」など、農地や自然に関する取組が大切だと考えている傾向にあります。



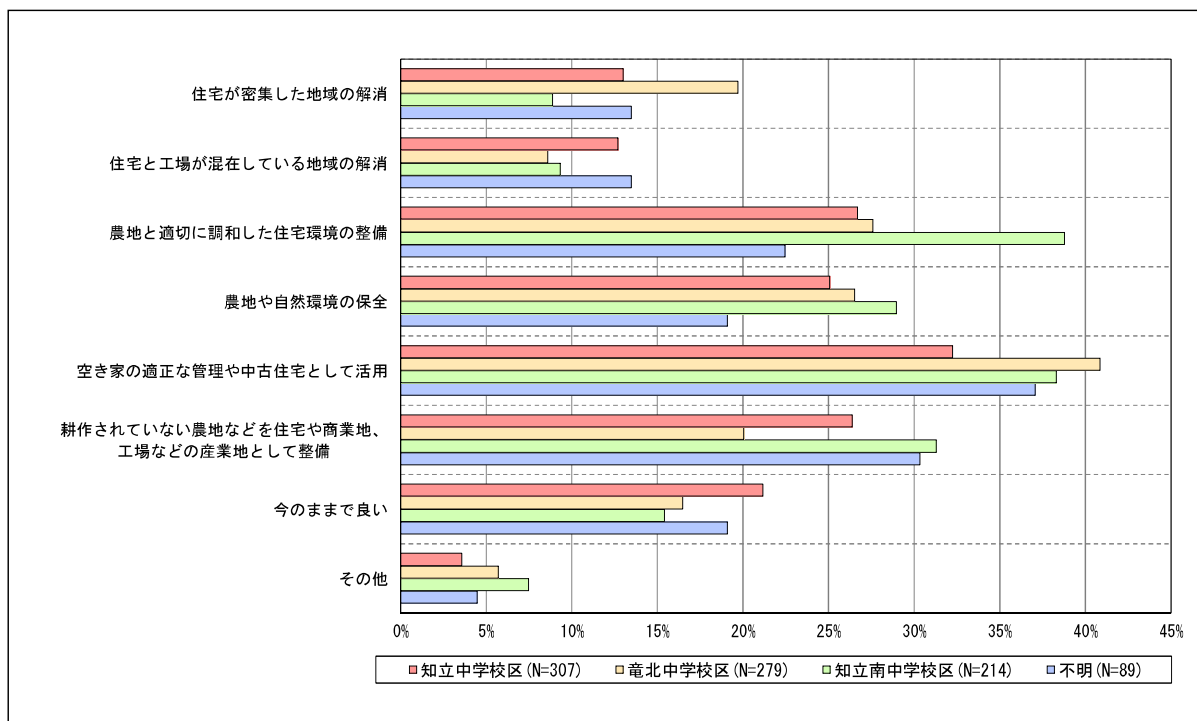
■お住まいの地区の土地利用について（年齢別）

小学校区別にみると、知立南中学校区では「耕作されていない農地などを住宅や商業地、工場などの産業地として整備」が約 40%、ハツ田小学校区では「農地と適切に調和した住宅環境の整備」と「空き家の適正な管理や中古住宅として活用」が 30%以上と高くなっています。また、猿渡小学校区と来迎寺小学校区では「農地と適切に調和した住宅環境の整備」が 30%~40%で最も高くなっています。その他の小学校区では「空き家の適正な管理や中古住宅として活用」が約 40%~50%で最も高くなっています。



■お住まいの地区の土地利用について（小学校区別）

中学校区別にみると、知立南中学校区では「農地と適切に調和した住宅環境の整備」が約 40%で最も高くなっています。その他の中学校区では「空き家の適正な管理や中古住宅として活用」が 30%以上で最も高くなっています。



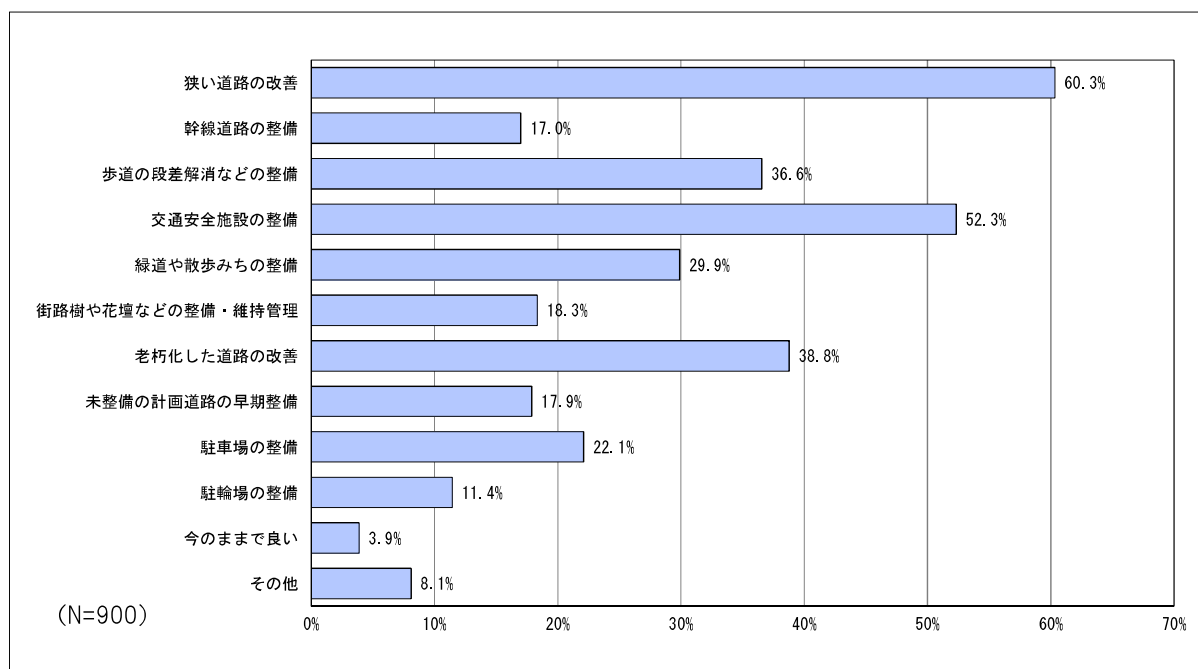
■お住まいの地区の土地利用について（中学校区別）

(2) お住まいの地区の道路・交通について

設問 11：お住まいの地区の道路・交通について、どのような取組が大切だと思いますか。次の中から大切だと思う番号全てに○を付けてください。

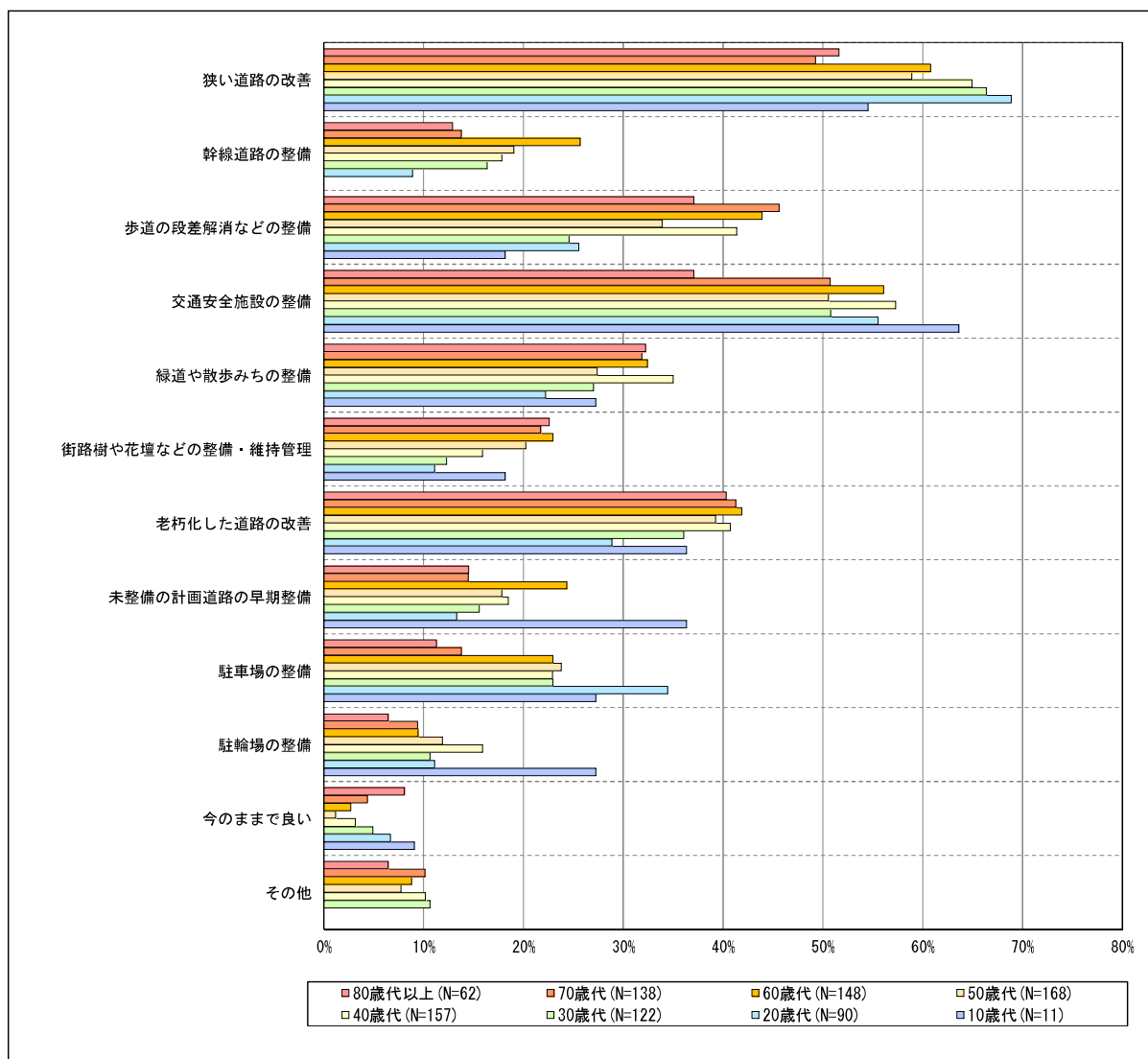
「狭い道路の改善」が60.3%と最も高く、次いで「交通安全施設の整備」が52.3%、「老朽化した道路の改善」が38.8%となっています。

また、「今のままで良い」は3.9%であり、前出の『土地利用について』や『公園・緑地について』と比較し、「今のままで良い」の割合が低くなっています。



■お住まいの地区の道路・交通について（全体）

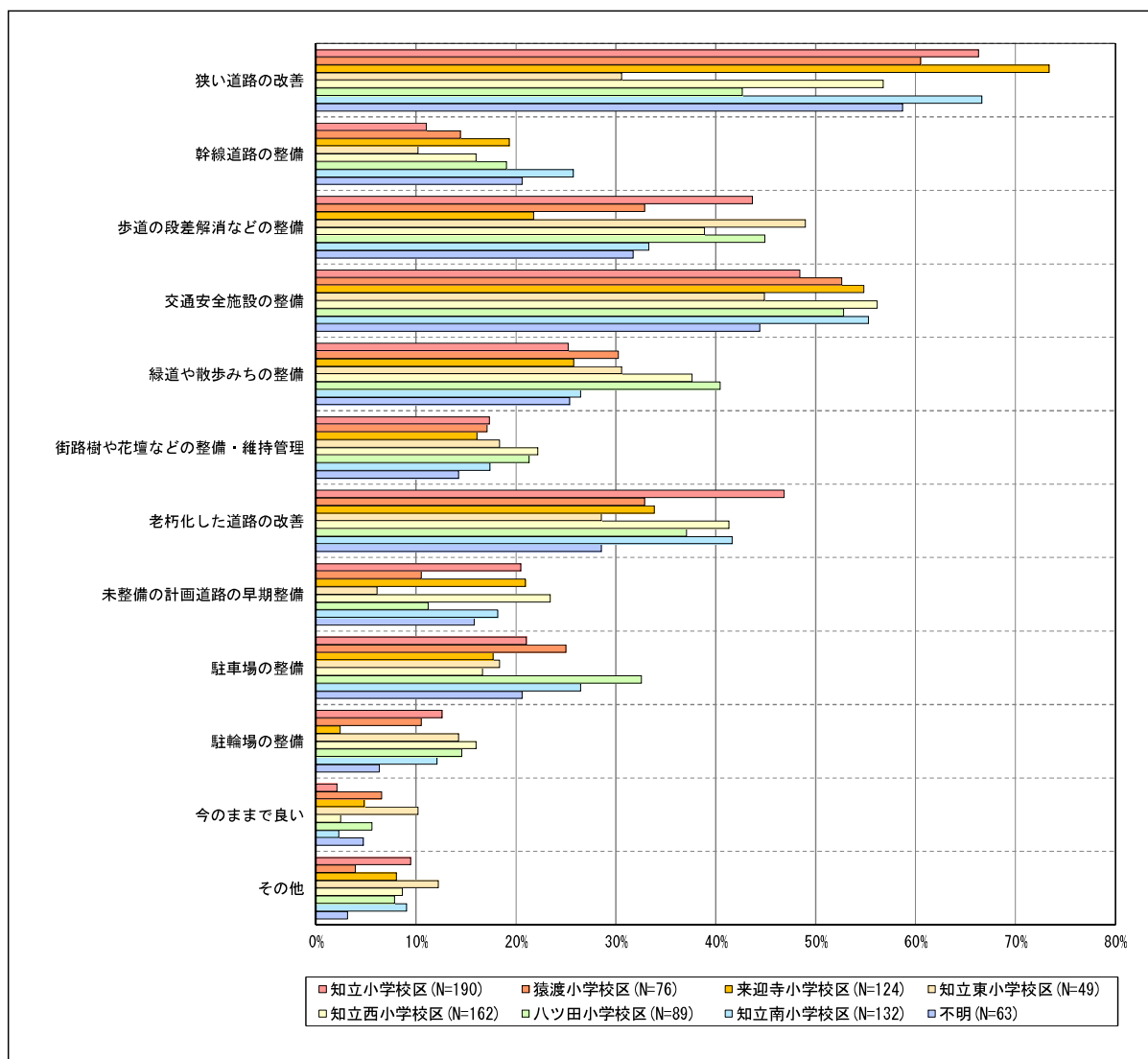
年齢別にみると、「狭い道路の改善」は年齢が若くなるにつれ高くなる傾向にあります。また、「交通安全施設の整備」は10歳代、20歳代、40歳代、60歳代で高くなっており、「老朽化した道路の改善」は40歳代以上で約40%と他の年齢層と比較し高くなっていきます。



■お住まいの地区の道路・交通について（年齢別）

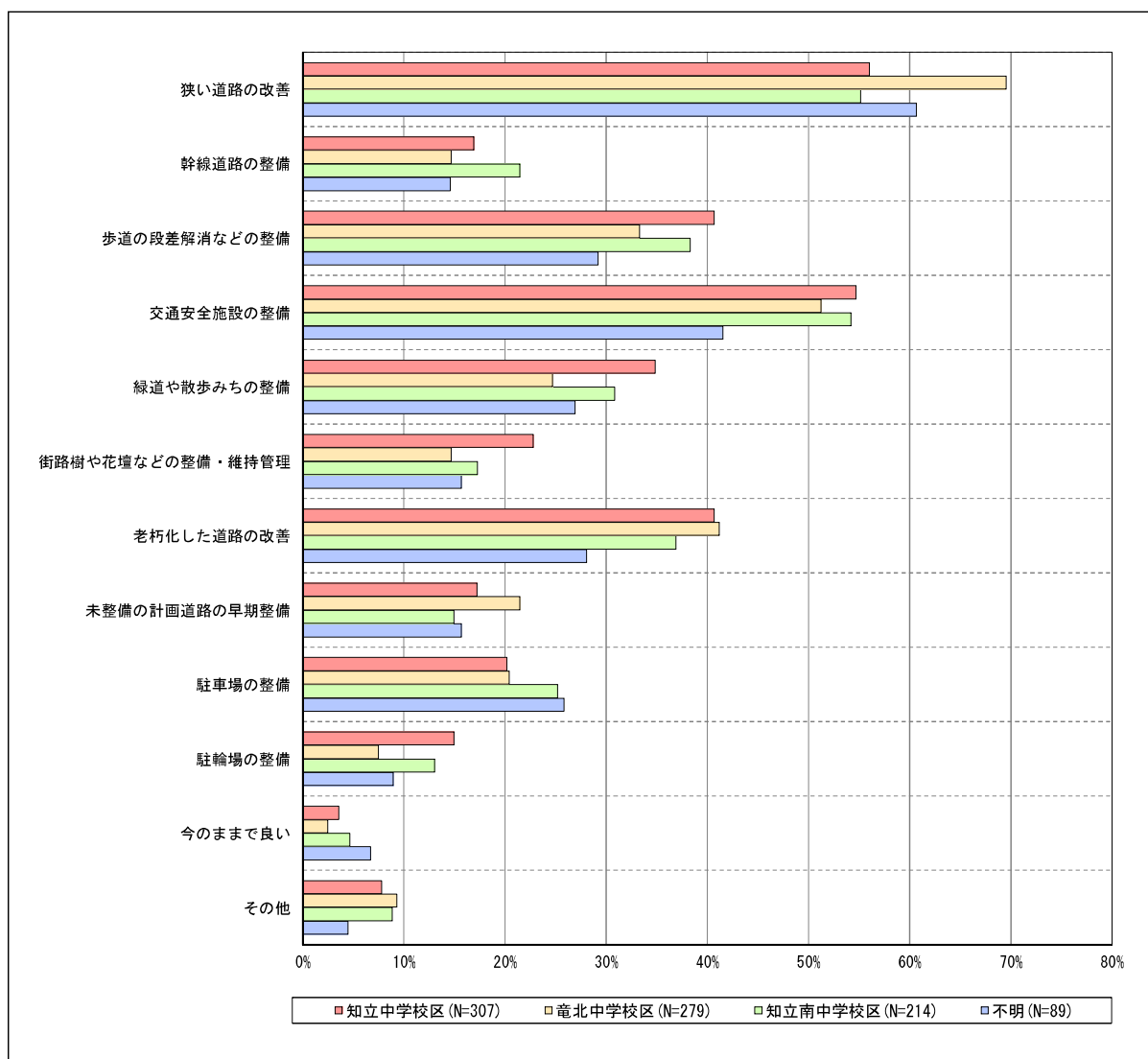
小学校区別にみると、知立東小学校区では「歩道の段差解消などの整備」が49.0%、ハツ田小学校区では「交通安全施設の整備」が52.8%で最も高くなっています。その他の小学校区では「狭い道路の改善」が50%～70%で最も高くなっています。

また「老朽化した道路の改善」は特に知立小学校区で割合が高くなっています。



■お住まいの地区の道路・交通について（小学校区別）

中学校区別にみると、すべての中学校区で「狭い道路の改善」が50%～70%と最も高くなっています。特に竜北中学校区で高くなっています。

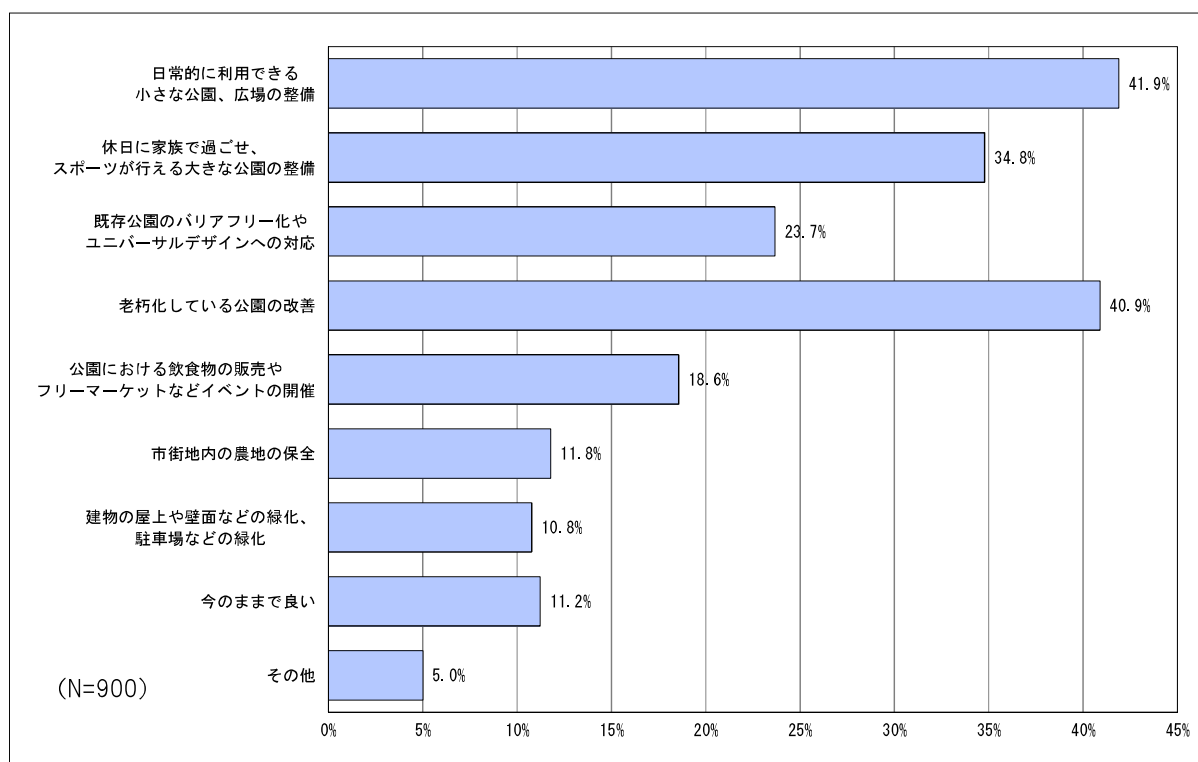


■お住まいの地区の道路・交通について（中学校区別）

(3) お住まいの地区の公園・緑化について

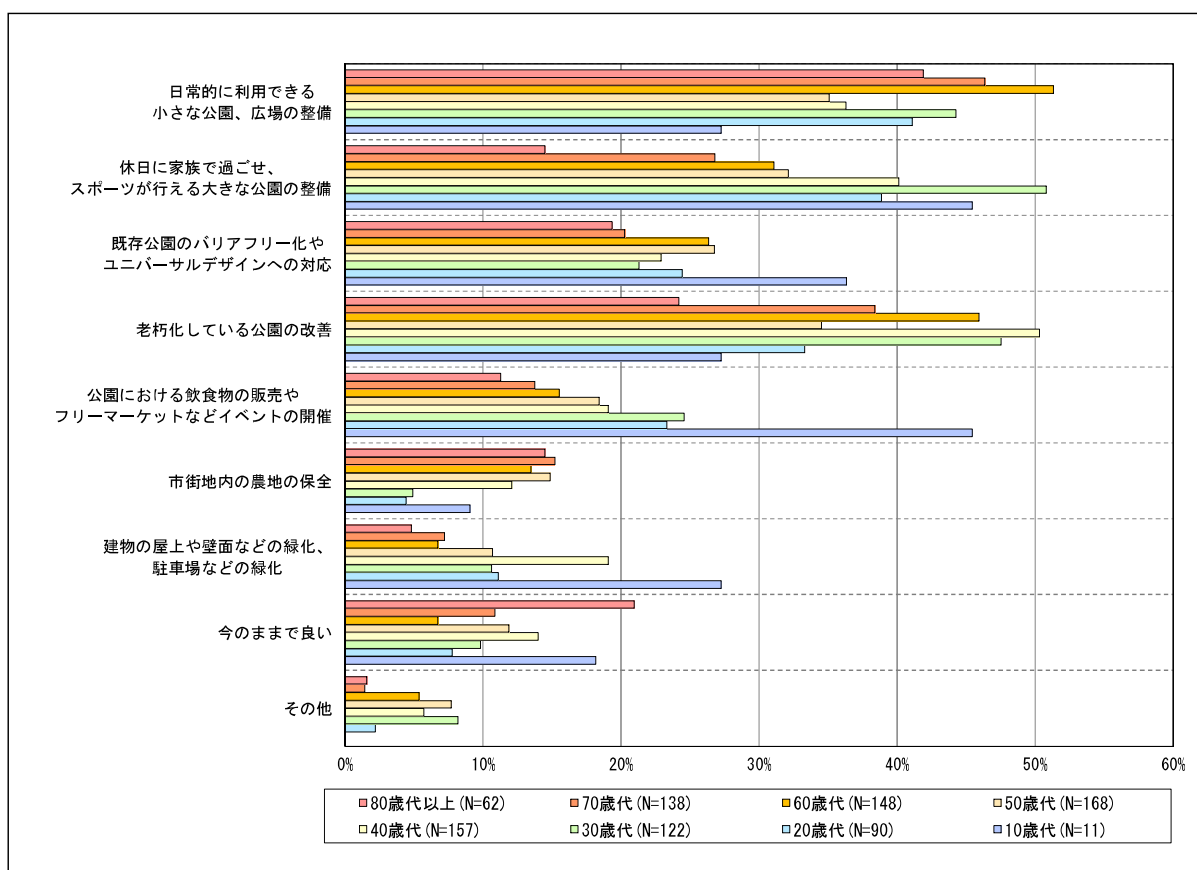
設問 12：お住まいの地区の公園・緑化について、どのような取組が大切だと思いますか。次の中から大切だと思う番号全てに○を付けてください。

「日常的に利用できる小さな公園、広場の整備」が 41.9%と最も高く、次いで「老朽化している公園の改善」が 40.9%、「休日に家族で過ごせ、スポーツが行える大きな公園の整備」が 34.8%となっています。



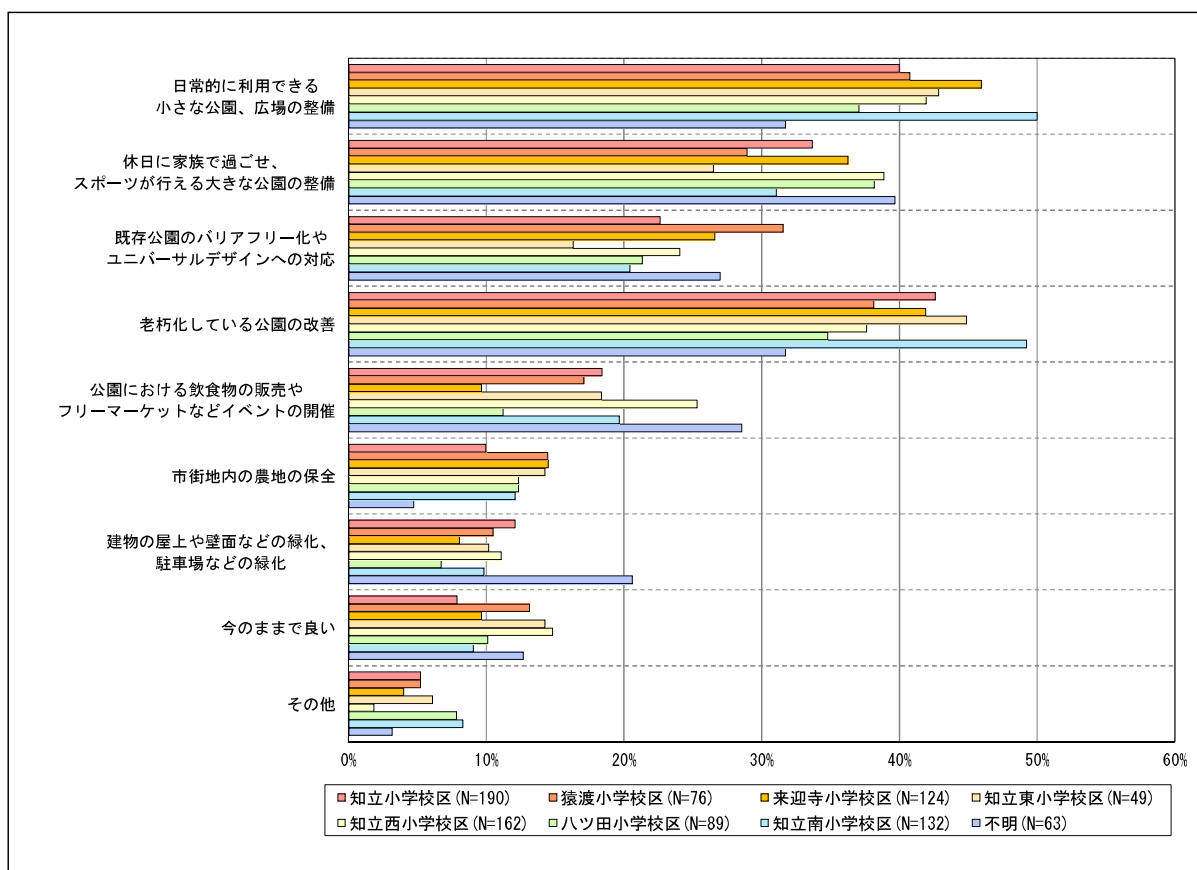
■お住まいの地区の公園・緑化について（全体）

年齢別にみると、10 歳代では「休日に家族で過ごせ、スポーツが行える大きな公園の整備」と「公園における飲食物の販売やフリーマーケットなどイベントの開催」の割合が高くなっています。30 歳代では「休日に家族で過ごせ、スポーツが行える大きな公園の整備」、40 歳代では「老朽化している公園の改善」がそれぞれ約 50%で最も高くなっています。その他の年齢では「日常的に利用できる小さな公園、広場の整備」が約 40%～50%で最も高くなっています。



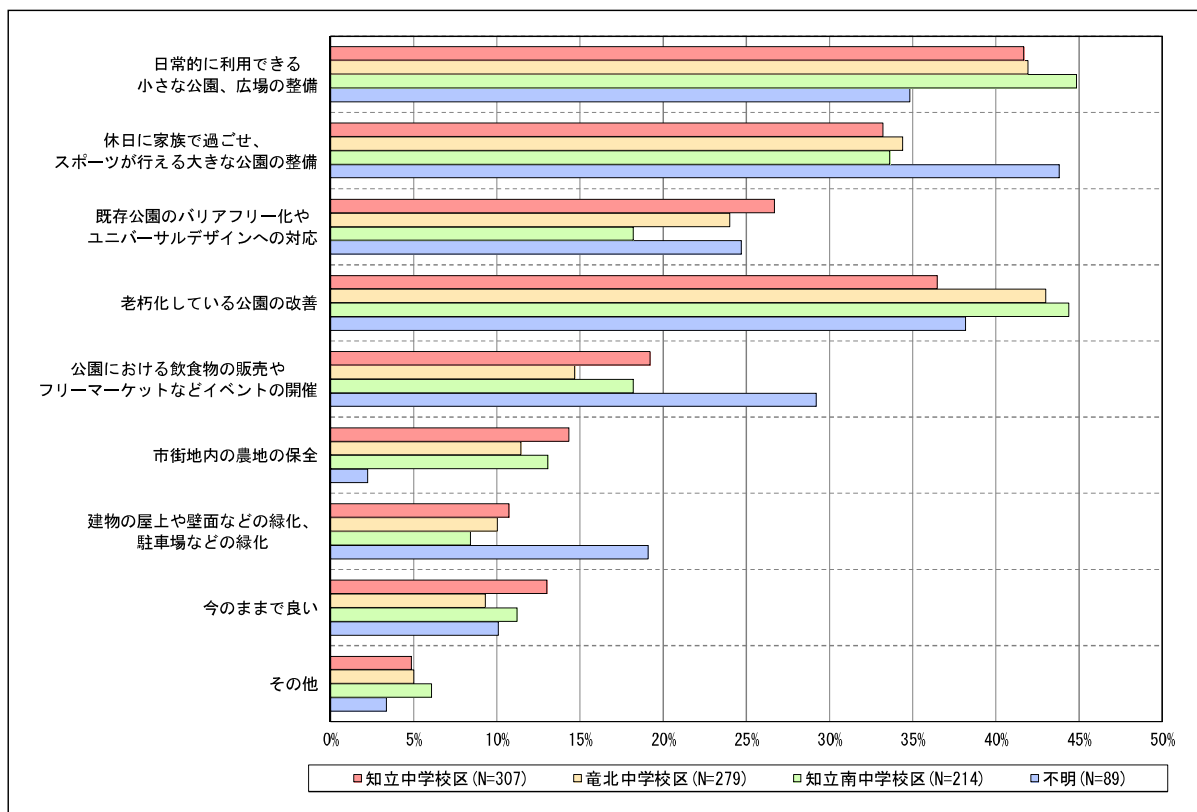
■お住まいの地区の公園・緑化について（年齢別）

小学校区別にみると、知立小学校区と知立東小学校区では「老朽化している公園の改善」が40%以上で最も高くなっています。また、ハツ田小学校区では「休日に家族で過ごせ、スポーツが行える大きな公園の整備」が約40%で最も高くなっています。その他の小学校区では「日常的に利用できる小さな公園、広場の整備」が40%～50%で最も高くなっています。



■お住まいの地区の公園・緑化について（小学校区別）

中学校区別にみると、竜北中学校区では「老朽化している公園の改善」が40%以上で最も高くなっています。その他の中学校区では「日常的に利用できる小さな公園、広場の整備」が40%以上で最も高くなっています。

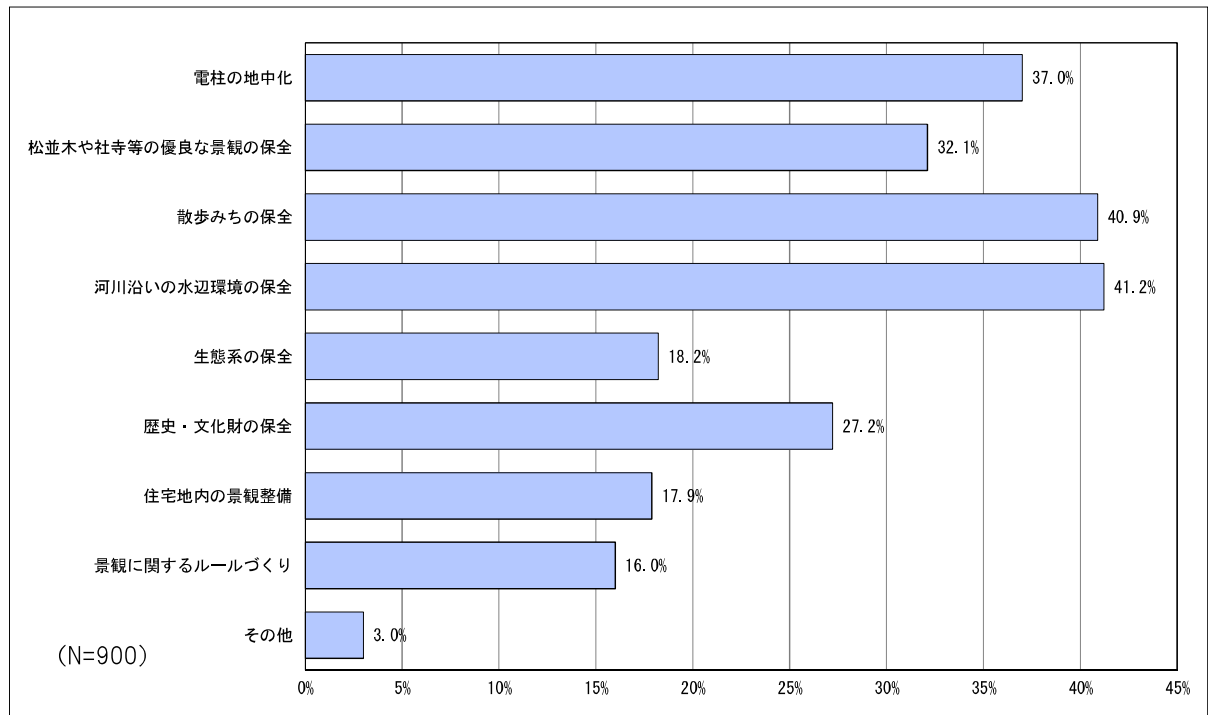


■お住まいの地区の公園・緑化について（中学校区別）

(4) お住まいの地区の景観・自然環境について

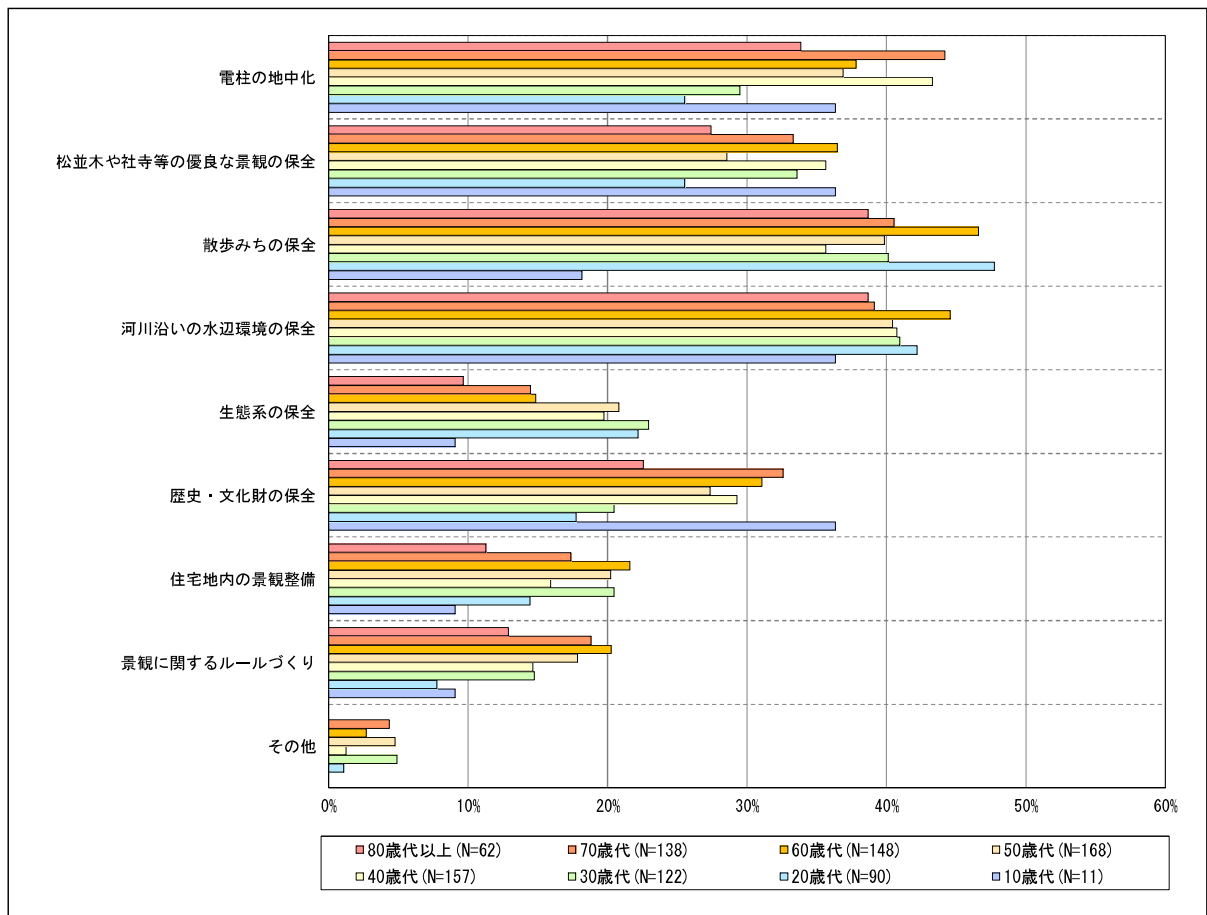
設問 13：お住まいの地区の景観・自然環境について、どのような取組が大切だと思いますか。次の中から大切だと思う番号全てに○を付けてください。

「河川沿いの水辺環境の保全」が 41.2%と最も高く、次いで「散歩みちの保全」が 40.9%、「電柱の地中化」が 37.0%となっています。



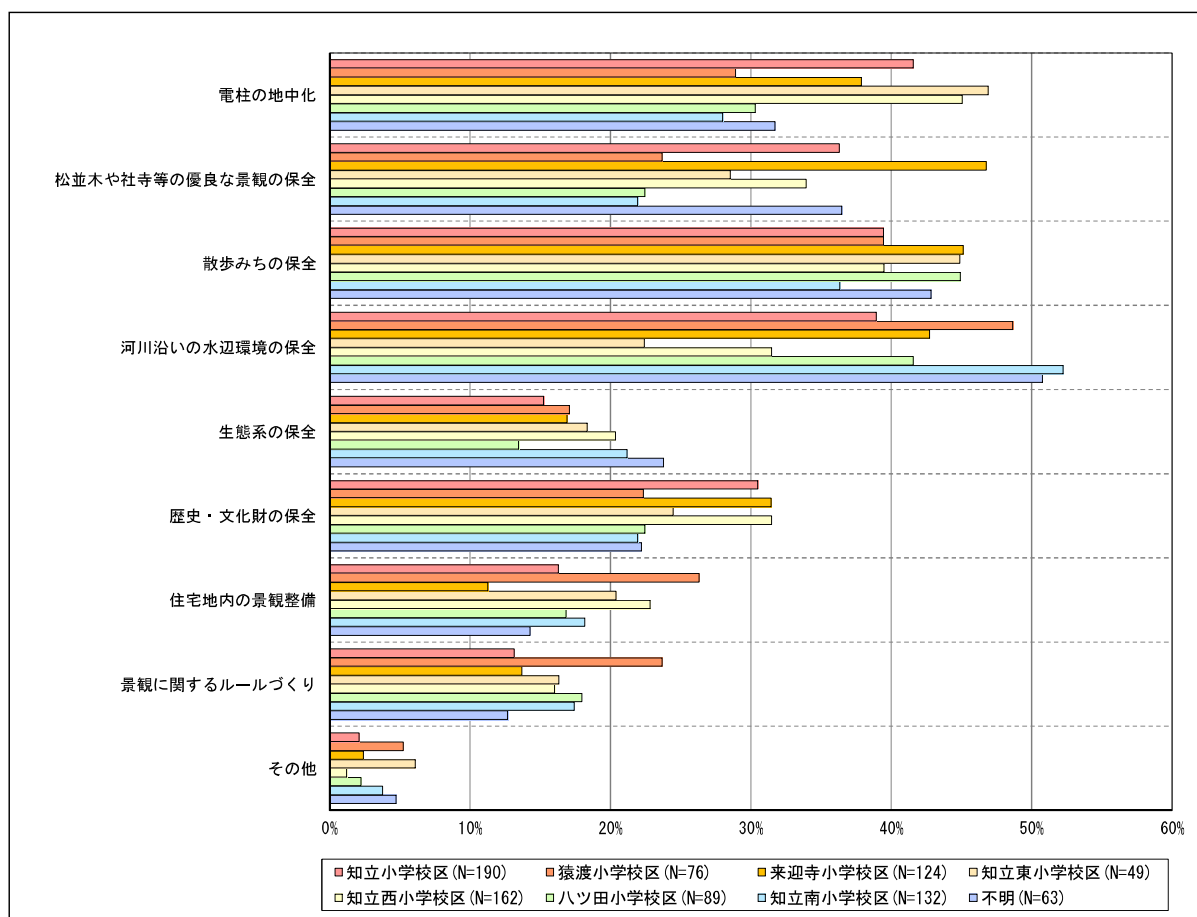
■お住まいの地区の景観・自然環境について（全体）

年齢別にみると、10 歳代では「電柱の地中化」、「松並木や社寺等の優良な景観の保全」「河川沿いの水辺環境の保全」および「歴史・文化財の保全」が約 40%で最も高くなっています。20 歳代と 60 歳代では「散歩みちの保全」が約 50%、30 歳代と 50 歳代では「河川沿いの水辺環境の保全」が約 40%、40 歳代と 70 歳代では「電柱の地中化」が 40%以上で最も高くなっています。また、80 歳以上では「河川沿いの水辺環境の保全」と「散歩みちの保全」が約 40%で最も高くなっています。



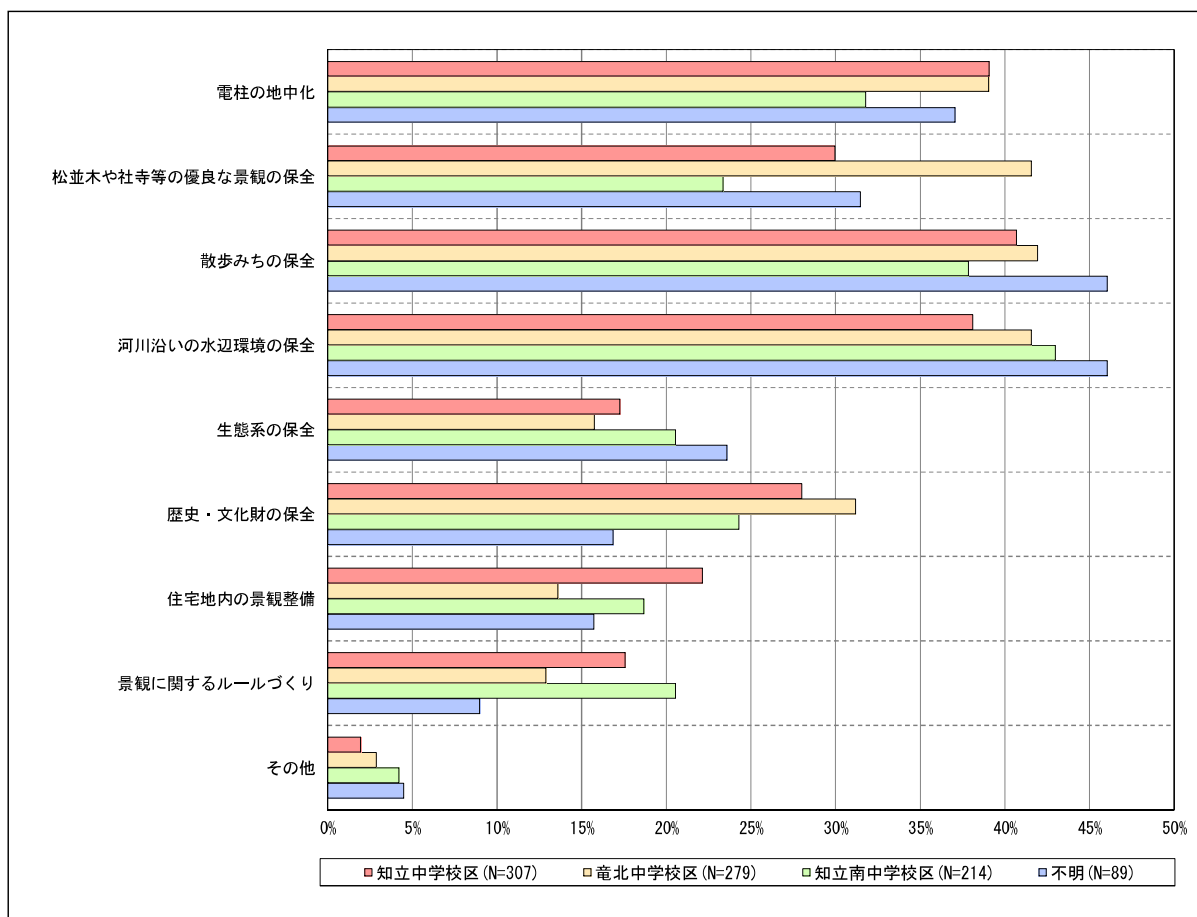
■お住まいの地区の景観・自然環境について（年齢別）

小学校区別にみると、来迎寺小学校区では「松並木や社寺等の優良な景観の保全」が約50%、ハツ田小学校区では「散歩みちの保全」が40%以上と最も高くなっています。また、猿渡小学校区と知立南小学校区では「河川沿いの水辺環境の保全」が約50%で最も高くなっています。その他の小学校区では「電柱の地中化」が40%以上と最も高くなっています。



■お住まいの地区の景観・自然環境について（小学校区別）

中学校区別にみると、知立中学校区は「散歩みちの保全」が最も高く、竜北中学校区は「松並木や社寺等の優良な景観の保全」や「散歩みちの保全」、「河川沿いの水辺環境の保全」の割合が高くなっています。知立南中学校区では「河川沿いの水辺環境の保全」が最も高くなっています。



■お住まいの地区の景観・自然環境について（中学校区別）

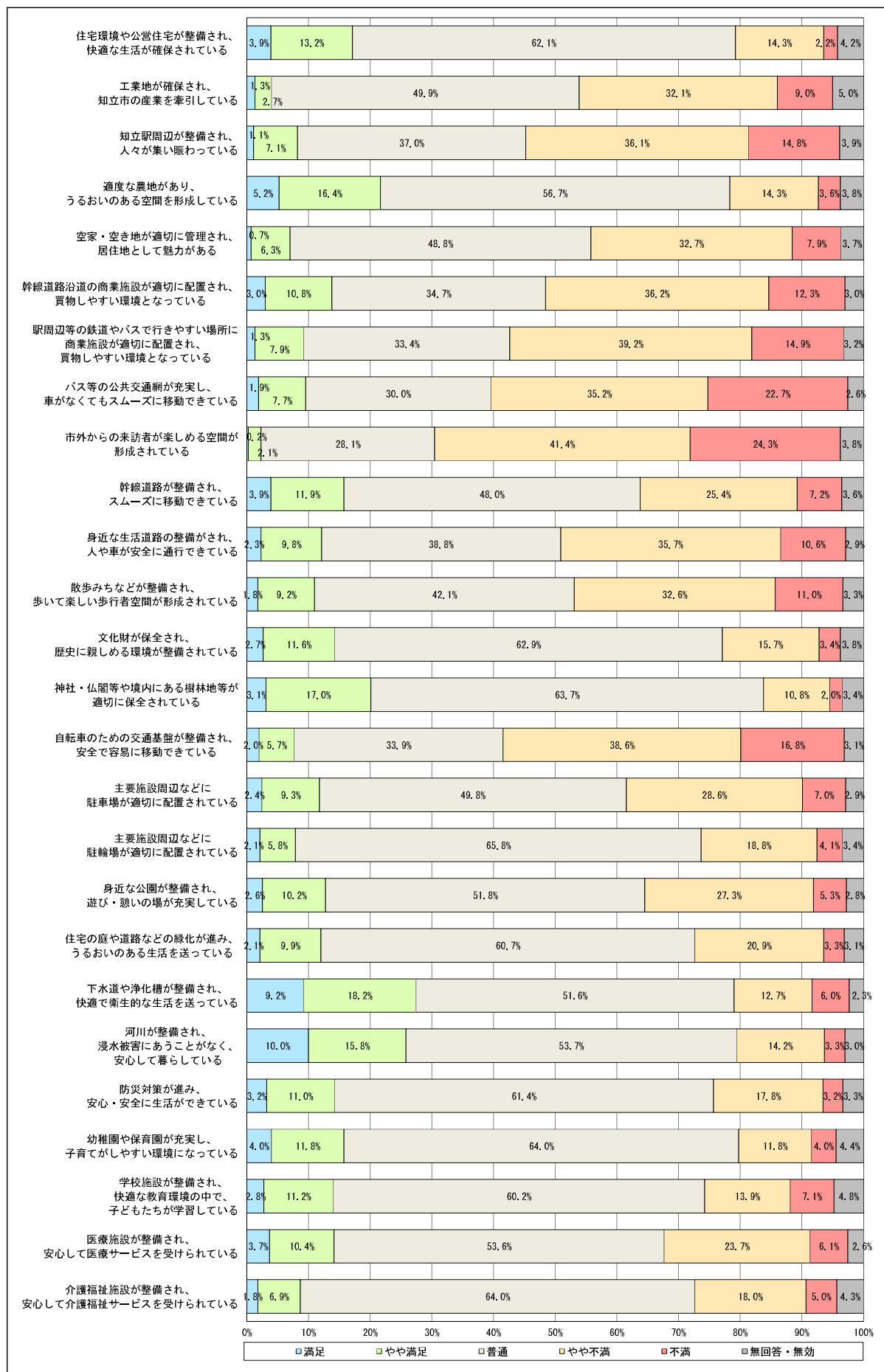
(5) お住まいの地区の生活環境について

設問 14：お住まいの地区の生活環境について、現状にどの程度『満足』していますか。また、今後の『重要度』をどうお考えですか。各項目に対して、当てはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

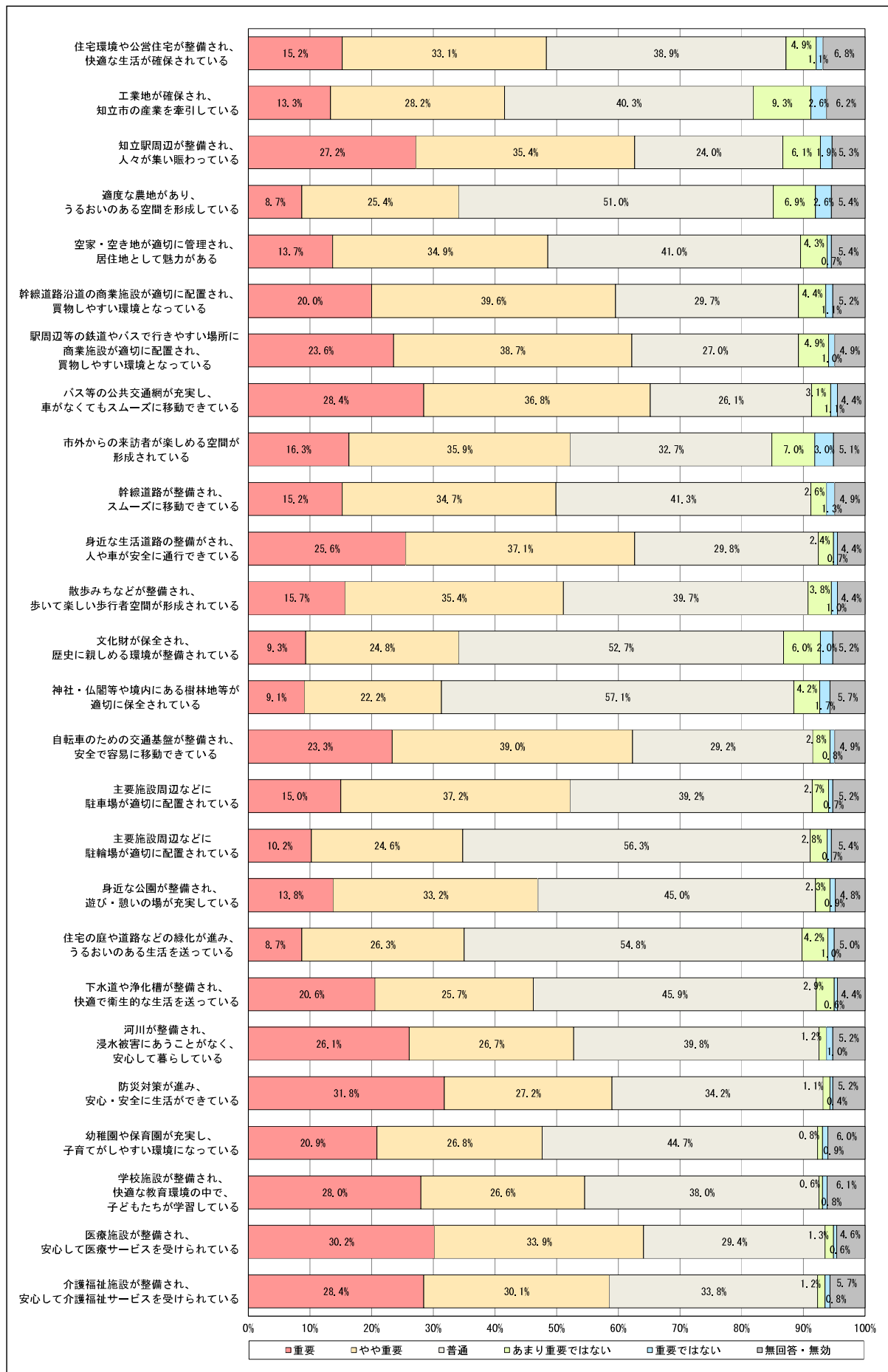
満足度の「満足」と「やや満足」の割合を見ると、「下水道や浄化槽が整備され、快適で衛生的な生活を送っている」が 27.4%で最も高く、次いで「河川が整備され、浸水被害にあうことがなく、安心して暮らしている」が 25.8%、次いで「適度な農地があり、うるおいのある空間を形成している」が 21.6%となっています。

一方で「工業地が確保され、知立市の産業が牽引している」は 4.0%、「市外からの来訪者が楽しめる空間が形成されている」は 2.3%と低くなっています。

重要度の「重要」と「やや重要」の割合を見ると、「バス等の公共交通網が充実し、車がなくともスムーズに移動できている」が 65.2%で最も高く、次いで「医療施設が整備され、安心して医療サービスを受けられている」が 64.1%、次いで「知立駅周辺が整備され、人々が集い賑わっている」、「身近な生活道路の整備がされ、人や車が安全に通行できている」が高くなっています。



■お住まいの地区の生活環境について-満足度-（全体）



■お住まいの地区の生活環境について-重要度-（全体）